

学校だより



電子情報工学科棟 大講義室

第137号



独立行政法人 国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Gunma College

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地 <https://www.gunma-ct.ac.jp>

2026. 3.12 広報委員会発行

CONTENTS

巻頭言 群馬高専を旅立つ皆さんへ/大金 伸光	2
特集<第60回卒業式・第30回専攻科修了式を迎えて>	
卒業生・修了生に贈る言葉	2
各科卒業にあたり	4
専攻科修了にあたり	14
各科卒業研究一覧	16
専攻科特別研究一覧	21
教職員からはなむけの言葉	22
退任挨拶	24
NEWS & TOPICS	25

(題字・下田 功 初代校長)

群馬高専を旅立つ皆さんへ

校長 大金 伸光

群馬高専を卒業・修了される皆さん、おめでとうございます。
群馬高専の5年間又は7年間の生活は楽しかったですか？入学した時に「群馬高専でチャレンジしてみたい」と思っていたことは叶えられましたか？

この5年間又は7年間で、様々な学びや経験、出会いなどがあったことと思います。うまくいったことだけでなく、悩み事や思い通りにいかなかったこと、努力しても結果が出なかったことなどもあったかと思いますが、そうした苦労や経験も、いつかきっと皆さんの大きな財産となっていることと思います。

皆さんがこれから歩み出す現代社会は、これまで以上に変化が激しく、将来を見通すことの難しい予測困難な時代です。そのような時代において重要となるのが、異なる専門分野を持つ者同士の対話です。専門性の壁を越え、互いの強みを持ち寄り、一つの目的に向かって協働して社会課題を解決していくことが大切です。自分の専門知識やスキルを磨くとともに、他者と手を取り合う「共創」の精神を忘れないでいただきたいと思います。

これからの人生においても、順調な時だけでなく、思いがけない困難に直面したりすることがあるかと思えます。そのような時は、一度立ち止まって、十分な睡眠をとったり、スポーツや趣味に打ち込んだりするなど気分転換を図りながら、自分の状況を冷静に見つめ直しましょう。また、一人で抱え込まず、信頼できる仲間や家族に相談してみましょう。自分一人の力では解決できないことも、誰かの力を借りれば乗り越えられることもあるかと思えます。

皆さんが、群馬高専で学んだことを土台として、自分らしく輝き続け、ご活躍されますことをお祈りしています。



ご卒業・ご修了 おめでとうございます

寮務主事 山内 啓

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。

また、保護者の皆様におかれましても、本日の佳き日を迎えられ、さぞお喜びのことと存じます。

皆さんの高専生活は、新型コロナ禍の影響を多少なりとも受けながら始まりましたが、社会が徐々に日常を取り戻していく過渡期を共に歩んでこられました。その中で学んだ知識はもちろんのこと、辛いこと、苦しいこと、そして楽しいことなど、さまざまな経験を積まれたことと思います。

卒業後・修了後も、新しい環境の中で学ぶべきことが多く待っているでしょう。これまで培ってきた経験を糧に、自らの道を力強く切り開いてください。周囲の意見に耳を傾ける柔軟さも大切ですが、自分の意思を大切に、信じた道を進んでほしいと思います。皆さんの行動次第で、これからの人生はいかようにも広がっていきます。

今後の皆さんのさらなるご活躍を心より期待しています。

後援会会長 吉田 涼子

卒業生・修了生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが新しい世界へと羽ばたく2026年は、60年に一度の「丙午（ひのえうま）」にあたります。古来、丙午は「火」の性質を持ち、眩しいほどの活気にあふれる年と言えられてきました。

ここ群馬は、豊かな自然と力強い「からっ風」が吹く場所です。その風の中で、皆さんは日々実験や演習に真摯に向き合い、確かな技術を自分のものにしてきました。時にもどかしい思いをした日もあったでしょう。けれど、この高専で積み重ねた時間は、皆さんの中に「しなやかで折れない強さ」を育ててくれたはずですよ。

これから歩む道で壁に当たったときは、この群馬の地で共に過ごした仲間の顔を思い出してください。「午」が軽やかに野を駆けるように、皆さんも自分を信じて、軽やかに、そして情熱を持って進んでいってください。

丙午の熱いエネルギーを社会を照らす優しい光へと変え、皆さんの未来が希望でいっぱいでありまうように。

継続は力なり

教務主事 佐々木 信雄

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆様、心よりお祝い申し上げます。

現代は何事もすぐに結果が求められる時代です。とはいえ、仕事にせよ研究にせよ、すぐに結果が出ないのはよくあることです。思い切って別のことを始めるのも一つの手かもしれません。しかし、一つのことにとこだわることから、新しい何かが生まれるのではないかと思います。

これから社会に出る人、大学や院に進学する人、道は様々ですが、何か一生懸命打ち込めるものを見つけてください。それが仕事や研究であれば一石二鳥ですが、趣味、家族、何でもいいと思います。ただし、それをできるだけ長く続けてみてください。時間をかけて物事に取り組むことが重要で、例えば良い結果が出なかったとしても、そのことは決して無駄にはなりません。一見無駄に思えるようなことが、人生には必要不可欠なことだと思えます。

皆さんの今後のご活躍を楽しみにしています。

卒業・修了 おめでとうございます

学生主事 高橋 徹

本科卒業生、専攻科修了生の皆様、そしてご家族の皆様おめでとうございます。

世界では今もなお紛争や対立が続いており、資源・エネルギー問題や物価高など、暮らしに直結する課題が山積しています。また、近年の生成AIの急速な発展は我々の生活や概念を一変させるポテンシャルを感じさせます。こうした不確実で激動の時代を生きる皆さんに求められるのは、正解の無い問いに向き合い、自ら考え行動する力だと思います。皆さんは学校生活において専門知識の習得に加え、仲間と時間を共有し、悩みや課題に対して自分なりの解答を見つけ出し、乗り越える経験を積み重ねてきました。今すぐに実感することはないかもしれませんが、それらの経験一つ一つが、これからの人生の大きな支えとなるはずですよ。失敗を恐れず挑戦し続ける姿勢と、他者・多様な価値観を尊重する心を忘れずに、それぞれの道を力強く歩んでください。社会は皆さんの若い力と新しい発想を必要としています。

コミュニケーションを大切に

同窓会会長 細谷 功

学科卒業生及び専攻科修了生の皆さん、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

今後、皆さんは専攻科や大学へ進む人、社会人となる人とそれぞれの道を進んでいくわけですが、今までこの高専で学んだ事は、各専門分野の基礎を勉強しただけです。

これからも高専で学んだ事を基礎としてより専門的な技術や自身で不足している知識の習得に努めてください。

この卒業を期に多くの皆さんは親元を離れ、一人で生活していく事になります。一人で生活していくと学業又は仕事の事及び人間関係等で多くの困難に出会うと思いますが、その時は一人で悩まずに積極的に上司、先輩や同僚等とコミュニケーションをとり対応して下さい。また会社での仕事は、社内外の多くの人々と協力して進めなければなりません。今後はリモート会議やテレワークなどが多くなり、直接会って話せる機会も減ってくると思われまうので、自分の考えを明確に伝える事が出来るようにコミュニケーション能力を更に向上させるように頑張ってください。

最後に卒業生諸君の健康と今後の活躍を期待します。

一つの節目として

学生会会長 3C 小林 孝太郎

群馬高専で過ごした日々が、一つの節目を迎えました。5年間、もしくは7年間という時間は、振り返るとあっという間だったと感じる方も多いのではないのでしょうか。

高専での日々には、楽しいことだけでなく、辛さを感じる場面や大変な時もあったはずですよ。そんな中で学んだ、他の学校にはない専門性は、これから先、さまざまな分野で生かされていくことと思います。

私が一年生の頃、学生会活動を通して接した当時三年生の先輩方は、立場の違いを意識させることなく、自然に場に迎え入れてくれる存在でした。言葉で何かを教えられたわけではありませんが、その姿勢や振る舞いから、組織の中での在り方を学ぶ場面が多くありました。そうした先輩方が、今、卒業という節目を迎えていることに、時の流れの早さを感じています。

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。先輩方のこれからのご活躍を心からお祈りしています。



これからの道へ

機械工学科 5年 担任 黒瀬 雅詞

機械工学科5年生のみなさん、卒業おめでとうございます。本当に、よくここまで頑張ってきました。長かったようで、振り返ればあっという間だった5年間。その中で君たちが積み重ねてきた努力は、誰にも真似できないほど濃く、深く、そして確かな力となって君たちの中に残っています。入学した頃の不安や期待、専門科目の難しさ、コロナ禍からの再出発、実験レポートや受験勉強に追われた日々。それでも歩みを止めず、前へ進み続けた君たちの姿を、私は心から誇りに思います。

特に、この1年間の卒業研究は、君たちにとって忘れられない時間になったはず。思うようにデータが取れず、休日も学校に来て、深夜まで実験室の明かりが消えなかった日もありましたね。時間が足りず焦り、実験のやり直しに心が折れそうになった瞬間もあったでしょう。それでも君たちは諦めず、問題から逃げず、仲間と支え合い、何度も立ち上がり、頑張ってきた姿が、5Mの強さであり、機械工学科で過ごした5年間+αの成果そのものです。

機械工学は決して優しい道ではありません。計算は厳密さを求め、実験は誠実さを求め、設計は責任を求

めます。あの経験は、これからの人生で必ず君たちの支えになります。

進学する人、企業で働く人、研究を続ける人。それぞれの未来は違っていても、高専で培った「自分の頭で考え、手を動かし、答えをつかみにいく力」は、どこへ行っても通用します。迷ったとき、壁にぶつかったとき、思い出してください。試験や卒研で何度失敗しても立ち上がった自分を。留年しても諦めずに努力し続けた日々を。

そして、これから歩む道の中で、どうか“語る言葉”を身につけてください。技術者は技術だけでは世界を動かさません。自分の考えを伝える言葉、仲間を励ます言葉、未来を切り開く言葉。それらを持つことで、君たちの技術は初めて人を動かし、社会を動かす力になります。君たちがこれから出会う人々に、自分の想いと技術を言葉で届けられるように。その願いを込めて、この言葉を贈ります。

高専で築いた絆は、これからの人生を支える大きな力になります。どうか胸を張って、これからの道へ踏み出していくことを心から願っています。君たちの挑戦が必ず日本、そして世界を動かす力になることを。

あっという間の5年間

機械工学科 5年
渡邊 真桜

先日、私たちは無事に卒業研究を終え、5年間の高専生活に一区切りをつけました。1年前は想像もできなかった先輩の姿に、いつの間にか自分自身がなっていたことに驚きました。

いま振り返ってみると、この5年間はそんなあっという間の繰り返しでした。記号の読み方すらわからなかった専門授業から始まり、大量の実験実習レポートや設計製図に奮闘してきた毎日が、だんだん自分の力になっていく実感があつたのを覚えています。

これからはそれぞれの進路で、“高専生”あるいは“学生”という肩書きを変えて進んでいきます。きっとこの先も、1年後の自分の姿を想像できないような挑戦の日々が再び、何度でも待っていると思います。そんな時には、手探りながらも高専で頑張ってきた自分を思い出して、なんとかやり抜いていきたいです。もちろん不安もありますが、まずはこの門出を5Mのみなさんで祝いしたいと思います。5年間、本当にお疲れさまでした！

結びに、これまでご指導いただいた先生方や研究室の方々、3年間担任してくださった黒瀬先生、そして近くで支えてくれた家族、たくさんの方のおかげで今日まで成長することができました。本当にありがとうございました。

保護者より

15歳から20歳へ—高専で育んだ 自律と強さ

機械工学科 5年
小池亮悟さんの保護者
小池 聡子

高専での五年間は、十五歳の子どもが二十歳の大人の顔になる、濃密な道のりでした。普通の高校生活とは違う、高専ならではの経験を積めた貴重な時間だったと思います。自宅から通う背中を五年間見守ってきましたが、卒業を迎え、成長した姿に感慨もひとしおです。

家ではゲームやスマホに没頭する「普通の長男」。しかしその裏で、親の理解をはるかに超える難解な公式や専門用語と向き合う姿に、高専教育の奥深さと我が子のたくましさを感じました。自律して努力する兄の姿は、弟妹にとっても大きな信頼の対象であり、良い刺激となりました。

特に卒業研究が始まってからは、休日返上で研究室に籠もる日々が続きました。「大変だ」と言いつつ淡々と課題を積み上げる強さは、熱心にご指導くださった先生方、そして切磋琢磨し合える友人の存在があつてこそ育まれたものです。

高専で培った専門性と実行力を武器に、これからどんな社会を築いていくのか。大人同士として、その活躍を誰よりも楽しみにしています。卒業生の皆さんが、自分らしく挑戦し続け、信頼される技術者・社会人として羽ばたくことを願っています。そして五年間温かく導いてくださった先生方、支え合ってくれた友人の皆様に、心より感謝申し上げます。

卒業生進路一覧

※ () 内は人数

進 学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (8)
長岡技術科学大学工学部機械工学科 (5)
山梨大学工学部
福井大学工学部物質・生命化学科
群馬大学理工学部電子機械類機械プログラム (4)
東京農工大学工学部生体医用システム工学科
研究生
豊橋技術科学大学機械工学課程システム制御・ロボットコース
金沢大学理工学域機械工学類エネルギー機械コース

就 職

ダイキン工業株式会社
富士フィルム株式会社
旭化成株式会社
ダイダン株式会社
株式会社ヨコオ
東京ガスネットワーク株式会社
サントリーホールディングス株式会社
安田工業株式会社
横河計測株式会社
ピー・アンド・ジー株式会社
田中貴金属工業株式会社
SUBARUテクノ株式会社





イエイ！ウォウウォウ！

電子メディア工学科 5年 担任 市村 和也

5年電子メディア工学科の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。

3年生と5年生というちょっと変則的な、しかも初めて担当する担任ということでご不便やご心配をかけてしまったかと思いますが、皆さんの成長を見守らせていただけて光栄でした。ありがとうございました。またこの良き日を迎えることが出来たのは、ご子息ご息女に日ごろから温かくサポートをくださったご家族の皆様のおかげです。ご家族の皆様におかれましても、心よりお祝い申し上げます。未熟な担任のクラス運営にご理解、ご協力いただき、ありがとうございました。

皆さんにとって、この5年間はいかがだったでしょうか？ コロナ禍がやっと落ち着き始めたころに入学した皆さんは、オンラインの活用など少し違う学生生活を余儀なくされました。中学校では修学旅行に行けなかった、という声もありましたし、私が3年生の皆さんを担任することになったときに思っていたのは、皆さんにのびのびと、楽しく過ごして欲しいなことでした。最初のホームルームでもそんな話をさせてもらったと記憶しています。ところがそんな新米担

任の心配は、まったく杞憂でした。当時3Eの皆さんはそれはもう元気で、活力が爆発していたのです。これは大変なクラスの担任になってしまったのかも知れない。私はそう思いました。何しろことあるごとにイエイ！ ウォウウォウ！と歓声が上がります。席替えるよと担任が言えば、イエイウォウウォウ！ 来週テストだよと言えば、イエイウォウウォウ！ 球技大会、イエイウォウウォウ！ 夏休み、バス旅行、工華祭、インフルエンザ、などなどなど。今でも目を閉じれば元気な声が聞こえてくるようです。振り返れば、こんな楽しいクラスの担任ができてとても幸せだったと思います。5年生、少し大人になった皆さんが進路に立ち向かい、立派に卒業研究を発表したときは感無量でした。

勉強は楽しいばかりではなかったと思いますが、みなさん立派な人材に育ってくれたと思います。社会はどんどん変わっていきますが、皆さんなら大丈夫です。元気に楽しく、幸せをつかんでください。イエイウォウウォウがもう聞けないと思うと寂しいですが、体に気を付けて、またいつか、どこかで会えることを楽しみにしています。

愛する人

電子メディア工学科 5年
堤 勇飛

5年前、期待と不安を抱えながら踏み出した「高専」という未知の世界。振り返ればこの5年間は、「高専生＝ガリ勉」という世間のイメージを全力で裏切り続けた日々でした。

「高専生は頭がいい」と言われますが、私たちはどうだったでしょう。テスト前は死に物狂いでノートを書き合う一方、行事となれば加減を知らない全力投球。特に球技大会で二冠を達成したあの熱狂は、今でも最高の思い出です。中身はとんでもない奴らの集まりでしたが、エネルギーに満ちた仲間と囲まれた毎日は、予想の斜め上をいく楽しさの連続でした。

特に4年次は、膨大な科目数と「大テスト」に追われる地獄のような日々でした。窮地を救ってくれたのは放課後の「教え合い」の時間です。誰かが教壇に立つ真面目な時間は長く続かず、結局はいつもの馬鹿騒ぎに脱線して勉強は一向に進まない。しかし、その騒がしさこそが「このクラスらしさ」であり、どこか安心している自分がいました。強烈な個性を放つメンバーがこれほど一つにまとまれたのは、この仲間だったからこそだと断言できます。

最後になりますが、破天荒な私たちを温かく（もしくは諦め顔で）見守ってくださった先生方、そして一番近くで支えてくれた家族に心から感謝いたします。

次に会う時は、机ではなく酒杯を囲んでの語り合いになるでしょう。くれぐれも飲み過ぎて救急搬送されることのないように。またいつか、遅く成長した姿で再会できる日を楽しみにしています。5年間、本当にありがとう！

保護者より

まさか！息子が群馬高専生になるとは

電子メディア工学科 5年
堤 勇飛さんの保護者
堤 英志

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご家族の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。これまで真摯にご指導くださいました教職員の皆様にお礼申し上げます。

共に苦しみ、共に喜び、濃厚な時間を過ごしてきた仲間も今、それぞれ別々のステージへと飛び立ちます。

思い返せば5年半前、熱い夏の日の恒例の親族BBQが盛りだくさんでした。普通高校進学一択だった息子に、工業系や商業系の分野もあることを話し本人的に熟考の結果、群馬高専を受験したいとの決意表明に似た報告を聞き家族一丸で挑戦していく決意をしたことを覚えています。

それから、人が変わったように受験に向き合っていました。推薦入試を受けることができたが、残念ながら不合格、一般入試に挑戦することとなり、今まで以上に時間を惜しんで向き合っていました。親としては、応援することしかできず体調の心配をする日々でした。無事合格し高専生としての生活をスタートさせることができました。

受験に向き合うなかで、苦手科目が得意科目になるほどに克服できたようでも高専生活を楽しめている姿に、安心しました。学年が進み、仲の良い友達も増え、友達と教えあい協力しながら試験や問題を解決して行く姿や、イベントなどを計画して友達と楽しんでいる姿に人としての成長を感じられました。

卒業により友達との繋がりは変わっていきますが、これまで育んできた友情は変わらないので、大切にしていってほしいです。高専での経験をこれからの人生の糧にして、頑張ってくださいと思います。

卒業生進路一覧

※（ ）内は人数

進学

群馬工業高等専門学校生産システム工学専攻（7）
弘前大学理工学部
福井大学電気電子情報工学
東京科学大学工学院電気電子系
茨城大学工学部電気電子システム工学科
群馬大学理工学部電子・機械類
豊橋技科大電気電子情報工学
山梨大学工学部工学科電気電子工学（4）
長岡技科大電気電子情報工学（2）
信州大学工学部電子情報システム工学科
東京都立大システムデザイン学部電気電子工学科
明星大学教育学部教育学科

就職

三菱電機株式会社電子通信システム製作所
株式会社日立ハイテク（2）
東京電力エナジーパートナー株式会社
株式会社KSF
東京消防庁
三菱電機エンジニアリング株式会社
エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社
株式会社LIXIL
株式会社U-NEXT HOLDINGS
東京レーダー株式会社





「コンピュータと未来を創る」エンジニアへ

電子情報工学科 5年 担任 築地 伸和

ご卒業おめでとうございます。

5年間にわたる学びを修め、この節目を迎えられたことを、担任として心よりお祝い申し上げます。皆様は電子情報工学科での学修を通じて、ソフトウェアとハードウェアの基礎を身につけるとともに、具体と抽象を行き来しながら、さまざまな視点で物事を構造的かつ論理的に考える力を養ってこられました。本校で積み重ねてきた学びは、これから社会に出ていく皆様にとって、確かな武器となるはずです。

皆様が本校で学んだ工学（エンジニアリング）は、技術を探求すること自体が目的ではなく、それらを社会の中でどのように生かし、価値を生み出すかを問いつける学問です。エンジニアとしての仕事は、人々の生活や社会の仕組みに直接影響を与える力を持っています。だからこそ、エンジニアには、高い専門性と同時に、広い視野と責任感が求められます。

近年はAI技術の発展および普及により、誰でも簡単に仕事の効率化を図ることができる時代になりました。その恩恵によって、私たちは多くの時間や労力を節約できるようになっています。一方で、AIに任せられることが増えるほど、自分で考え、判断する機会は少なくなりがちです。もし効率化すること自体が目的になってしまうと、自分の意思や価値観を見失ってしまう危険もあります。

そのような時代だからこそ、大切にしてほしい考え方があります。孫子の兵法に「彼を知り、己を知れば百戦危うからず」という言葉があります。本来は戦における兵法を説いたものですが、現代に当てはめれば、社会の中で生きていく上での重要な指針とも読み取ることができます。周囲の環境や置かれている状況を正しく理解すると同時に、自分自身を深く知ることができれば、変化の激しい時代においても、進むべき方向を見失いにくくなります。

自分は何を大切に、何を目標として生きていくのか。その軸がはっきりしていれば、迷いや不安に直面したときにも、立ち止まって考えることができます。その軸こそが、皆様自身の歩むべき道を導く、大切な指針となることでしょう。

これから先、皆様は迷いや失敗に直面することもあるでしょう。しかし、そのようなときこそ、自分なりの軸を思い出し、一歩ずつ前に進んでください。その歩みが、やがて皆様にしかできない社会への貢献につながっていきます。

皆様一人ひとりの歩みが、やがて多くの人を支え、より良い未来を創っていくことを、私は心から信じています。誇りをもって、自分の道を歩んでください。皆様のこれからの活躍を、心より期待しています。

貴重な“今”を大切に

電子情報工学科 5年
中澤 啓人

コロナの影響で様々な制約を課されながら入学した群馬高専。どんな人たちと一緒に日々を過ごすのかと楽しみな反面、新たな環境に対して不安な気持ちでいっぱいでした。しかし蓋を開けてみれば賑やかな面々に囲まれ不安な気持ちは一瞬でなくなり、それから5年間を通して数え切れないほどの思い出や経験を得ることができました。ともに多くのレポートや課題をこなし、寮では誰かの部屋に集まって遊び、談笑する毎日。勉強に追われたテスト期間や受験期は、普段はふざけ合うような友人たちと支え合いながら乗り越えてきました。そんな楽しかった高専生活も遂に終わりを迎えようとしています。今の環境から離れてしまうのは心細いですが、同時に新たな世界が自分たちを待っているという期待感もあります。一番大切なのは、過去に囚われることでも未来に縋ることでもなく、今を全力で生きることだと思います。この5年間の思い出は胸に刻み、次の舞台でもその一瞬一瞬を噛みしめながら突き進んでいきたいと固く決意しています。

最後に、支えてくださった教職員の方々、私の世界を広げてくれた友人たち、そして家族へこの場を借りて感謝の気持ちを伝えさせていただきます。5年間、本当にありがとうございました。

保護者より

卒業に寄せて

電子情報工学科 5年
中澤啓人さんの保護者
中澤 真紀

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

社会全体が色々な制約を余儀なくされ不安でいっぱいだった2021年春。息子の高専入学はとても嬉しい出来事でした。しかしこの状況下で円滑に学生生活を送れるのか、友達は出来るのか、心配しながら寮に向かったことを思い出します。荷物を運び入れていると相向かいの部屋の生徒が挨拶してくれてその笑顔がとても朗らかで気持ちが安らいだことを覚えています。彼と息子は今も共に支え合う親しい間柄となりました。5年間に少しずつ日常を取り戻し、中学校で実現できなかったホームステイや研修旅行にも行けるようになり、友達も増え、多くを学び、充実した高専生活を送れたことに親としてこの上ない幸せを感じています。これも校長先生をはじめ諸先生方、高専に関わる職員の皆様のお陰と感謝しております。

卒業生の皆さんはこれからそれぞれの道に進んでいきます。今まで専門的な勉強や実習、膨大なレポート等大変な努力をされたことでしょう。それらを乗り越えてきた粘り強さは、これからの時代を生き抜くための原動力となるはずですよ。

自分の選んだ道を信じ、突き進んでください。皆さんの未来が光り輝くものであるようお祈りいたします。

卒業生進路一覧

※（ ）内は人数

進学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻（8）
筑波大学情報学群情報科学類
群馬大学情報学部データサイエンスプログラム
群馬大学理工学部電子・機械類
埼玉大学工学部電気電子物理工学科
電気通信大学情報理工学域 I 類（情報系）メディア情報学プログラム
電気通信大学情報理工学域 I 類（情報系）情報数理工学プログラム
長岡技術科学大学工学課程情報・経営システム工学分野
長岡技術科学大学工学課程電気電子情報工学分野（2）
新潟大学工学部工学科知能情報システムプログラム（2）
名古屋大学情報学部自然情報学科
豊橋技術科学大学情報・知能工学課程（2）
九州大学芸術工学部芸術工学科音響設計コース
佐賀大学理工学部理工学電子デバイス工学コース
東京都市大学情報工学部情報科学科
研究生（2）

就職

シンフォニアテクノロジー株式会社
ルネサスエレクトロニクス株式会社
ソフトバンク株式会社
株式会社日立アドバンストシステムズ
株式会社U-NEXT HOLDINGS
株式会社明電舎





卒業と核発生／結晶成長の関係

物質工学科 5年 担任 和田 善成

5 Kの皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆様におかれましては、御子息・御息女の門出を心よりお祝い申し上げますとともに、これまでクラス運営にご理解とご協力を賜りましたことに感謝申し上げます。

当時、4年生であった皆さんの担任となったのは、私が群馬高専に着任した1年後でした。人生初めての高専担任として臨んだ始業式では、式の途中で数人が姿を晦まし、その後のHRがお説教から始まることとなりました。皆さんを社会で大きく活躍できる人材に徹底的に鍛え直さなければ！と決意をした瞬間でした。心配の尽きない皆さんでしたが、進路選択をきっかけに自身の人生を少しでも真剣に考えるようになり、目標達成に向けて努力・成長した結果、卒業を勝ち取ることができて本当に安心しています。簡単ではなかったこの卒業という成果は、皆さんの努力によるものに他なりません。家族・友人・関係する多くの方々の支えがあってこそのもので、ぜひはっきりと感謝の気持ちを伝えてください。この5年間で見つけた出会いも必ず今後の皆さんの大きな力となります。

さて、皆さんにとって科学とは何でしょうか？授業の雑談では、「無秩序（乱雑な現象）の中から秩序（法則性）を見出すこと」と話していました。

■ 乱れの中に秩序をつくる

化学工学で取り扱う晶析（結晶化）過程では、分子が無秩序に動き回る溶液中で、ある条件になると秩序をもった結晶核が発生・成長します。この5年間で晶析過程に置き換えると、濃度が変わり、温度が変わり、時には不均一になり、時には均一に戻る、そんな揺らぎの中で少しずつ秩序が生まれたはずで

■ 「過飽和」がなければ結晶は生まれない

晶析の推進力は過飽和です。過飽和とは飽和以上に溶解過ぎた不安定な状態を指し、とても苦しい状態です。人生も晶析と同様に、挑戦や努力という苦しい過程がなければ、核発生・成長は望めません。

■ 成長するためには「活性化エネルギー」を超える必要がある

結晶核の発生には、大きな壁である活性化エネルギー E_a が存在します。これは人生における挑戦と似ています。最初の一步には必ず壁が立ちはだかり、乗り越えるために多量のエネルギーが必要です。卒業という E_a を乗り越えた皆さんは、これから成長するのみです。

■ 結晶をさらに高品質化するためには

晶析には、固体として物質をただ分離するだけでなく、要求品質を結晶に作り込む側面もあります。高品質な結晶核も雑に成長させれば、劣化します。時には、未飽和状態を作ることによって結晶を溶解させ、再結晶化で純度を高める必要も出てきます。卒業後も、目標に応じた過飽和の操作戦略をしっかりと練ることで、結晶品質の向上が可能となります。

■ 異元素により新たな機能的性が付与されることも

結晶は、不純物を構造内に適切に取り込むことで新たな能力が発現する場合があります。不必要に見える知識や面倒な経験も積極的に取り込んでください。人生において最も価値の高い財産は経験であると言われるように、その経験は必ず皆さんの糧となります。

最後に、皆さんが生み出す未来の「結晶」を心から楽しみにしています。

ご卒業、本当におめでとうございます。

あっという間の5年間

物質工学科 5年
伊藤 申明

卒業研究発表会が終わり、いよいよこの学校から旅立つ時が来ました。

思えば五年前、きれいな白衣やピカピカな実験器具に心を躍らせながら入学してきた高専一年生だった僕は、入学早々に「現実はずいぶん甘くない」ということを何度も突き付けられました。

終わったと思ったらすぐにやってくる実験ノートやレポート、赤点ラインが六十点の定期テスト。正直、何度も逃げ出したいくなりました。

それでも、そんな環境だったからこそ、自分の好きな専門分野を身につけることができ、タイピングが異常に得意になり、音ゲーに妙に精通するなど、気づけば多くのことを学んでいました。

そして何より、その日々の中で巡り合うことができたにぎやかな友人たち、いつも優しく接してくださった先輩方や、ずっと応援してくれた両親には、何度も助けられました。

最後になりますが、五年間お世話になったK科の先生方、特に担任の和田先生および卒業研究にて指導いただいた齋藤先生には、愛のある厳しいご指導をしていただきました（泣）。本当にありがとうございました。

これから進む新たな進路でも、この五年間を誇りに（自虐も交えながら）自分らしく歩んでいきたいと思っています。

今まで本当にありがとうございました。

保護者より

息子へ

物質工学科 5年
伊藤 申明さんの保護者
伊藤 美樹子

「俺、高専に決めた！」と、中三の時に、初めて訪れた学校見学会で進路を決めましたね。あの日、物質工学科の教室にて、初対面の貴方にも丁寧、且つ親身に應對してくれた先輩方の振る舞いが今でも忘れられません。

コロナ禍だった中学最後の部活動の大会は全て中止だったから、高知や茨城で開催された高専の全国大会（卓球）にも出場出来て、頑張ってきた努力が報われた思いがしました。

夏休み、遠方からバイクに乗って、四万温泉に連れて行ってくれた友。天文台へ星を見に行こう！と、会いに来てくれた友。冬にはスキーに行き、卒業研究で夜な夜な研究室で一緒に研究に励んだ友……。他にもここには書き切れない程、多くの良き友人に恵まれて、貴方の高専生活は彩り豊かになりましたね。

温かくも、時には厳しく御指導いただいた諸先生方、本当に本当に有難うございました。

昨年の学校見学会で、物質工学科の教室にて見学者に應對している貴方や他の学生さんの姿を見た時、こうして良き伝統は繋がっていくんだ、と感動しました。

最後に、貴方の目指す研究がこれからの社会の役に立っていくようにと、いつも見守っています。卒業おめでとう！

卒業生進路一覧

※（ ）内は人数

進学

群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻（9）
北海道大学工学部応用理工系学科応用物理学コース
弘前大学理工学部物質創成化学科
群馬大学理工学部物質環境類・食品工学プログラム
群馬大学理工学部物質環境類材料科学プログラム
東京科学大学理学院化学系
東京科学大学生命理工学院生命理工学系
東京科学大学歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻
長岡技術科学大学工学部物質生物工学分野（2）
信州大学繊維学部化学材料学科
豊橋技術科学大学工学部応用化学・生命工学課程
福井大学工学部応用物理学科
広島大学理学部物理学科

就職

サントリーホールディングス株式会社
株式会社田中貴金属グループ
信越化学工業株式会社（2）
中外製薬工業株式会社
第一三共株式会社（2）
協和キリン株式会社
株式会社コスモ計器
リンテック株式会社
FDK株式会社
自営業





何事も為せば成る + 学び + 感謝の気持ち =

環境都市工学科 5年 担任 宮里 直樹

私は映画がとても好きで、超大作からいわゆるB級映画まで、これまで数多く観てきました。その原点となったのが、小学校6年生のときにテレビで初めて観た、1985年公開のアメリカ映画『Back to the Future』です。車好きだったこともあり、作中のさまざまな場面が今でも鮮明に記憶に残っています。なかでも印象的だったのが、主人公の友人である博士が語る「何事も為せば成る」という日本語吹き替えの言葉でした。

英語では「If you put your mind to it, you can accomplish anything!」という台詞です。当時の私は意味を深く考えることなく、その言葉を強烈に覚えました。後になって知ったのですが、「為せば成る」という言葉は、江戸時代に米沢藩を立て直した名君・上杉鷹山の言葉です。「何事も為せば成るが、人の良くないところは行わないことだ」という意味だと知り、その重みを改めて感じました。

悩んだらやってみる。迷ったら、とりあえず行動する。やった後悔より、やらなかった後悔の方が心に残ります。失敗しても恥をかいても、いずれ笑い話になりますが、行動しなければ、そこで止まってしまう。動いた人しか見えない景色がある、私はそう思っています。

ここからは私なりの理解です。「為せば成る」とは、ただ行動すればよいという意味ではなく、成功するために努力し、考え、時間をかけることだと思っています。努力しても、すぐに結果が出ることはほとんどありません。実らない時期の方が長いかもしれません。それ

でも、努力しなければ成果は決して生まれません。だからこそ、できることを淡々と続けるしかないのだと思います。

皆さんは、すでにそれぞれの場所で努力しています。たとえ他人からそう見えなくても、私はそう思っています。だから私は「がんばれ」とは言いません。ただ、自分で「まだ足りない」と感じるなら、上限を決めず、しっかり取り組んでください。成果が出たとき、そこはゴールではなく新たなスタートです。

そして、学ぶとは何か。私は、正しい判断をするため、多面的に物事を考える力を身につけるためだと思っています。学びは一生続くものです。学生時代の勉強はその一部であり、社会に出れば、毎日がテストであり、プレゼンの連続です。しかも、正解のない問いに向き合うこととなります。だからこそ、これまでの経験や学びを総動員して、自分なりの最適解を導くしかありません。

最後に感謝についてです。10年ぶりに海外の友人と再会し、話をする中で改めて気づきました。国や文化が違って、私たちは同じ人間であり、嫌なことも、うれしいことも、本質は変わりません。私たちは決して一人で生きているわけではありません。だからこそ、周囲への感謝の気持ちを持ち続けることも、「為せば成る」に近づく一歩だと思います。日頃から支えてくれているご家族へ、ぜひ感謝の気持ちを言葉で伝えてください。私からも、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ではバイバイみんな…

環境都市工学科 5年
坂本 駿太

入学してから早くも五年の月日が経ちました。この文章の作成にあたり、入学当時のことを思い出そうとしましたが、あまり覚えていませんでした。それほどまでに五年という時間は長いものだったのだと感じます。振り返ると、高専生活は勉強に追われていた記憶が強く残っています。提出期限に間に合わせるために、放課後友人と遅くまで残ったことや、答えがわからずに頭を抱えたことも数えきれないほどありました。それでも、仲間と協力して必死に取り組んだ時間は、不思議と楽しい思い出として心に残っています。

環境都市工学科での学びは、教室の中だけでなく、実験実習を通して体で覚えることが多くありました。それらすべてが、ここでしかできない貴重な学びだったと感じています。

また、何気ない休み時間や行事での出来事、クラスで過ごした日々もかけがえのない思い出です。こうした時間があつたからこそ、忙しい学校生活も乗り越えることができました。

先生方のご指導、そして陰で支えてくれた家族、共に困難を乗り越えた友人への感謝を胸に、ここでの経験をこれからの人生に生かしていきたいと思っています。

保護者より

おっさん化した息子へ

環境都市工学科 5年
大豆生田拓真さんの保護者
大豆生田 一博

いつからだろうか、息子の寝顔がおっさんになったのは…

子供の成長は思いのほか早かった。私たちの知らない所でたくさんの事を経験してきたんですね。

色々な事を感じ考え、楽しい事や嬉しい事も、悔しい事や悲しい事もあったと思います。

身体も心も大きく成長した息子。それでも私たち親から見れば、小さかったあの頃が今でも鮮明に思い出されます。

たくさんの楽しい思い出をありがとう。社会に出れば辛い事もあるでしょう。

学生時代を懐かしく想う時もあるでしょう。それでもあなたには何でも出来る可能性を持っています。

恐れず、勇気を持って一歩踏み出しましょう！

あなたから見たらバカばかり言っている親でしょう。

そんな先輩から一言。

「一度きりの人生。思いっきり楽しんで、やりたい事は何でもやりましょう。今日が一番若い日です！」

あなたが何時でも帰ってこれるよう温かいご飯を作って待っています。

卒業おめでとう。

いってらっしゃい。

卒業生進路一覧

※ () 内は人数

進学

群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 (7)
山梨大学工学部工学科土木環境工学コース
群馬大学理工学部物質・環境類 土木環境プログラム (2)
長岡技術科学大学工学部環境社会基盤工学分野 (6)
弘前大学農学部森林・環境共生学コース
新潟大学農学部フィールド科学人材育成プログラム
豊橋技術科学大学建築・都市システム学社会基盤コース (3)
日本工学院八王子専門学校
広島大学理学部物理学科

就職

東日本旅客鉄道株式会社
NTTインフラネット株式会社
メタウォーター株式会社
パソコン技術管理株式会社
五洋建設株式会社
独立行政法人水資源機構
株式会社NIPPO
東京水道株式会社
群馬県庁 (2)
西武鉄道株式会社
東京都庁
株式会社環境技研
東亜建設工業株式会社
ONESTRUCTURE株式会社





自ら開拓し先導する未来へ！

専攻科長 友坂 秀之

専攻科修了、おめでとうございます。

いよいよ、群馬高専専攻科を飛び立つ時です。専攻科で自分自身を成長させることは、できましたか。得たものは、成し遂げたものは、何ですか。また、気づきや学びはどうでしょうか。専攻科修了は、みなさんにとっては通過点です。ぜひ、専攻科で得たものを糧に、思い描く未来へ向かって自分自身をさらに成長させてほしいと思います。

成功はしたい、失敗はしたくない、とだれもが思うかもしれません。では、挑戦はどうでしょうか。挑戦は自身が飛躍する大切な機会ですが、挑戦に失敗はつきものです。そうすると、失敗はしたくないから挑戦はしない、ですか。失敗を恐れずに果敢に挑戦する、こんな決意、勇気はどうでしょうか。様々なことに挑戦し、失敗から学ぶことが、失敗からいかに学ぶかが、思い描く成功への礎となるように思います。挑戦、失敗、克服、その先に成功があると思います。みなさん、専攻科では、どれだけ挑戦し、失敗し、克服しましたか。

これまでに、家族をはじめとする多くの人に助けら

れ支えられ、自分一人では乗り越えることのできない様々な困難に立ち向かい、克服してきたはずです。多くの人への感謝の気持ちを忘れることなく、これまでの経験をこれからの人生に活かしてほしいと思います。

世の中、世界は、常に変化しています。比較的平和な日本で暮らしていると、世界で起こっている様々な激動に鈍感になっているかもしれません。一方、良くも悪くも、昨日までの当たり前が、明日からは当たり前でなくなることがあります。本科生のときの新型コロナでは、それまでの生活が一変し、学校に通うことすら難しい時期があり、リモートでの授業などは大変でした。現在は、人が創造する力によって、ほぼ克服できたと思える状態にまで来ています。創造力、自ら開拓する力によって多くの人を先導する、そんなみなさんの未来を期待し、また願っています。

最後に、専攻科修了生の保護者のみなさまには、修了に際しお祝い申し上げますとともに、これまでの専攻科へのご支援とご協力に感謝申し上げます。

How Far We'll Go —また会う日まで—

環境工学専攻 2年
伊藤 綾香

高専ではかけがえのない友人に出会い、ともに勉学に励み、遊び、さらに工華祭ではバンドを立ち上げるなど、数えきれないほどの思い出を作ることができました。本科を卒業した現在も、連絡を取り合う機会や、久しぶりに連絡をもらうこと、駅で偶然再会することもあり、5年間で共に過ごした友人とのつながりの大切さを改めて実感しています。

専攻科では、より専門的な内容を学ぶ中で、授業についていくのに必死な日々が続きました。科目ごとに毎回難しい課題が出題され、受験勉強や研究との両立に苦労することも多々ありましたが、それでも乗り越えることができたのは、ご指導してくださった先生や友人の支えがあったからだと思います。進路や研究について悩み、指導教員の先生に泣いて相談させていただいたこともありました。そのような中で、ずっと支えてくださった先生方、両親、そして共に学んできた友人たちには、大変感謝しています。

本科の頃から時の流れの早さを感じていましたが、長いと思っていた7年間の高専生活も、気づけば終わりを迎えました。充実した高専生活を過ごすことができたのは、間違いなく、周囲の支えと、かけがえのない友人たちのおかげです。本当にありがとうございました。

また皆さんとどこかで会えますように... !

保護者より

ひろ野を囲む群嶺のなかで

生産システム工学専攻 2年
品田将太さんの保護者
品田 卓也

専攻科修了、誠にありがとうございます。7年間という長きにわたる高専での学びを無事に修められ、感慨もひとしおです。

技術者の卵だった皆さんは、校歌にうたわれる「ひろ野を囲む 群嶺よ」の情景の中で、仲間とともに学び、互いに支え合い大きく成長してきました。これもひとえに、温かく見守りながらも、ときに心を鬼にして数多くの課題を課してくださった先生方、そして学校を支えてくださったすべての皆さまのお力添えの賜物と心より感謝申し上げます。

世界が大きく変わり続けています。これからの道のりが、いつも平坦とは限りません。くじけることなく、たくみに「明・清・直」をもって先に立つパイオニアとなってください。活躍のフィールドは、すでに皆さんの目の前に広がっています。時代はいま、皆さんの活躍を切望しています。一人ひとりが理想を胸に、自ら考え、自ら課題を課して、それぞれの場所で未来を切り拓いていってください。志や夢を語り合い、切磋琢磨してきた仲間をこれからも大切にしてください。そして、健康に留意し、ときには家族への連絡も忘れず、仲間とともに技術の力で世界をよりよくしていくことを、保護者として心より願っています。

卒業生進路一覧

※ () 内は人数

進学

東京科学大学大学院理学院化学系 (2)
東京科学大学大学院物質理工学院材料系
東北大学大学院生命科学研究所生態発生適応科学専攻
東北大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻
東北大学大学院工学研究科機械機能創成専攻
東北大学大学院工学研究科ファインメカニクス専攻 (2)
東北大学大学院工学研究科電気エネルギーシステム専攻 (2)
横浜国立大学大学院都市イノベーション学府都市地域社会専攻
北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻 (2)
北海道大学大学院工学院北方圏環境政策工学専攻
筑波大学大学院理工情報生命術院国際連携持続環境科学専攻
筑波大学大学院理工情報生命術院システム情報工学研究群 (4)
筑波大学大学院人間総合科学術院人間総合科学研究群
筑波大学大学院理工情報生命術院数理物質科学研究群
長岡技術科学大学大学院工学研究科システム情報工学研究群

就職

栗田工業株式会社
第一三共バイオテック株式会社
LTCCマテリアルズ株式会社
三益半導体工業株式会社
株式会社バンダイナムコクラフト
イノテック株式会社 (2)
株式会社JALエンジニアリング
アイ・システム株式会社
ジョンソンコントロールズ株式会社
群馬県
信越化学工業株式会社
旭化成株式会社
ヤマハ株式会社
DMG森精機株式会社
株式会社日立製作所



学生氏名	卒業研究題目	担当教員
足立 啓 真	変位測定用STMのトンネル電流増幅回路のノイズ評価	樋口
石井 湊	金属積層ラフト造形における造形時間がベース材変形に及ぼす影響	黒瀬・高山
伊勢 元 春	副燃焼室の構造が2バルブ4ストロークエンジンに及ぼす影響	花井
岩瀬 耕 大	粉塵爆発における爆発限界測定	花井
岡田 志 織	レートとポジションを融合した状態観測器に関する研究	平社
片山 颯 太郎	正弦波位相変調干渉計による多点計測のためのノイズ評価	樋口
金田 翔 希	ミル加工における切削開始時の振動抑制に関する研究	櫻井
北爪 大 夢	ガーニーフラップの効果に関する数値流体シミュレーションと風洞実験	矢口
串田 海 人	超小型衛星における薄型アクチュエータを使用した姿勢制御に関する研究	平社
倉田 翔 月	金属材料の高温腐食に及ぼす灰成分のS/C比の影響	山内
栗原 更 英	パイロット式バーナーを用いたピザ窯の昇温効率と逆火防止	花井
栗原 伊 織	縦型高速双ロール鋳造法により作製した純Al板材の機械的特性	黒瀬・高山
黒澤 駿 介	数値流体シミュレーションを用いた翼型の性能評価	矢口
小池 亮 悟	磁場のノルムと偏角を使用した姿勢角検出器に関する研究	平社
小泉 慧 真	メッシュ型温湿度計測・監視システム開発	榎本
小林 あ み	チタン合金切削時における加工液の研究	櫻井
小林 瑞 季	一方向からの繰返し衝撃荷重によるねじ締結力変化についての研究	榎本
小山 結 愛	高反射率ミラーのFP共振器による光源線幅測定	樋口
坂井 信 太郎	レーザー走査速度によるCFRTP-Al接合材の捻り強度と残留応力の変化	黒瀬・高山
境野 瑚 華	ハイテン材の有孔曲げ加工における加工硬化	黒瀬・高山
佐藤 成 峻	2種類元素添加したSn-37.5mass%Biの超塑性変形挙動	山内
澤田 充 正	不純物元素の複数多量添加によるAC4B合金の表面色調への影響	山内
清水 怜	パッシブとアクティブを融合した磁気トルカによる超小型衛星の姿勢制御実験	平社
白石 光	コーヒーの焙煎時間とクロロゲン酸の減少に関する研究	花井
菅原 史 陽	風洞実験による小型垂直軸型風車の性能試験	矢口
瀬戸 直 弥	非整数階微積分を用いたクレーンの振れ止め制御に関する研究	平間
善養寺 竜 司	ガス爆発時における乱れが火炎挙動に及ぼす影響	花井
園田 琉 惺	パルスプラズマスラストによる推力方向制御に関する研究	平社
高橋 睦 大	木質ペレット材のベルトコンベア搬送における洗浄方法	黒瀬・高山
瀧野 希	CFRP/CFRTP一様材および接合材の面内せん断特性評価	黒瀬・高山
近岡 利 輝	間接超音波印加によるAl-Si鋳ぐるみ材の凝固組織改質	黒瀬・高山
中村 健 太	加振法における鉄鋼平板材の応力分散の検証	黒瀬・高山
西村 穂 高	改質切削液を用いたMQL加工の研究	櫻井
橋本 恵 那	リンパ管の内部流れに関する数値流体シミュレーション	矢口
本間 創	小型垂直軸型風車の起動性に関する数値流体シミュレーション	矢口
松本 孝 介	制振合金によるリモートセンシング衛星のカメラセンサの振動抑制	櫻井
吉田 和 生	ダイカスト用水溶性離型剤の希釈水が離型性におよぼす影響	黒瀬・高山
渡邊 真 桜	デブリ低減のためのパルスプラズマスラストを用いた軌道減衰に関する研究	平社

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
荒田 慈 河	半導体工学実習システムの整備に向けた諸検討	五十嵐
荒牧 龍 真	高位合成に基づく小規模ニューラルネットワークのFPGA実装の検討	松本
安藤 朝 都	倒立二輪ロボットの動的安定化に向けた最適制御と非線形補償の融合	奈須田
飯野 惺 大	電磁気学と力学の相対論的書き換え	神長
猪俣 絵 莉 咲	ソーシャルフォースモデルを用いたPythonによる避難シミュレーション	高橋・渡邊(悠)・宇治野
江積 瞳 弥	ポーカーアプリの開発とGTO機能の実装	布施川
大島 平 蔵	床発電システムに関する基礎検討	中山
笠木 陸 羽	電極近傍のプラズマ成膜と膜厚測定	市村(和)
河内 稜 真	天動説の精度評価	高橋・渡邊(悠)・宇治野
岸 駿 也 太	量子ホール効果における非線形I-V特性(2名共同研究)	平井
小須田 大 樹	アモルファスシリコン太陽電池の出力特性に関する基礎研究	中山
小西 大 翔	ビッグバン元素合成における軽元素質量比の時間発展と核統計平衡	高橋・渡邊(悠)・宇治野
齋藤 玲 皇	ルービックキューブの数理:群論の応用	奈須田
神原 雄 一郎	小規模マイクロコントローラの製作と多ビット拡張の検討	松本
佐藤 悠 生	トレーニング管理アプリの開発	布施川
須藤 颯 馬	モンテカルロ法を用いた吸着分子ホッピングシミュレーションプログラムの構築	塚原
高橋 亮 祐	テスラコイルにおける一次コイルの設計と放電性能への影響	市村(和)
高橋 怜 央	DFT計算を用いた吸着原子ホッピング過程に関する研究	塚原
田子 聖 也	全波整流回路を用いたAC/DC変換による高電圧直流電源の開発	市村(和)
多胡 陽 向	FPGAを用いた汎用入力デバイスの開発	松本
田沼 雅 基	量子ホール効果における非線形I-V特性(2名共同研究)	平井
堤 勇 飛	高周波信号記録機構の整備に向けた諸検討	五十嵐
渡木 琢 翼	太陽位置計算による太陽追尾プログラムの作成	中山
富岡 真 柊	スカラー場ダークマターモデルの宇宙膨張ダイナミクス	高橋・渡邊(悠)・宇治野
友寄 海 翔	風力発電における昇降圧チョッパ回路の動作特性	中山
長森 涼 音	広帯域符号化信号の作製	富澤
平川 力 暉	音声共有アプリの開発	布施川
星野 利 王 斗	コンクリートレーダにおけるレーダとデータ処理装置間インターフェースの製作	平井
堀越 圭 吾	配膳ロボットの経路シュミレータの開発	布施川
松本 大 輝	コンクリートレーダへの超分解能処理の実装	富澤
宮下 賢 聖	DFT計算を用いた半導体光学特性に関する研究	塚原
力石 玲 央	同調調整システムにおける機械的回転機構の改良検討	五十嵐
柳 咲 吾	高速データ転送機構の整備に向けた諸検討	五十嵐

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
秋山 珀空	ダイレクトサンプリング方式SDR受信機におけるアンチエイリアスBPFに関する検討	築地
阿久澤 聖蒼	群馬県における山岳地形がからっ風に与える影響の考察	雑賀
浅川 武揚	マイコンを用いたタンブラー自動洗浄機の試作	大豆生田
新井 春登	AIを用いたミキシング支援システム	荒川
飯尾 龍矢	ABMIによる経済分析	西山
飯島 慶士	AIを活用した落とし物管理アプリの開発	西山
江畑 太一	集合の濃度の演算と無限の階層	北田
金井 佑心	言語処理を用いた人狼ゲームにおける形勢評価	荒川
後藤 天慈	群馬県で吹くからっ風におけるの風力分布の分析と考察	雑賀
遠山 蓮	パーキンソン病患者の小声症を支援するリアルタイム音声フィードバックシステムの提案	大墳
齋藤 優月	群馬県で吹くからっ風におけるの風力分布の分析と考察	雑賀
笹川 竜誠	大腸検査ロボットのシミュレーション環境の構築	市村(智)
佐相 冴太郎	OpenFOAMを用いた空調効率の研究	宇治野・高橋
鈴木 煌大	足の甲を使用する体表点字システムの検討	大墳
武田 幸寛	合成データを用いたアニメ調映像からの2次元関節座標推定AIの開発	荒川
田部井 珂維人	高効率な入力を目的としたキー配列の検討	大豆生田
田村 伊織	ハイブリッド特徴量と勾配ブースティング決定木を用いたクマ出没予測手法の検討	西山
土谷 琢磨	マーカーレスモーションキャプチャを用いた、フォーム変化予測モデルの開発	荒川
豊巻 煌	LLMを用いたVR操作手法の有効性に関する研究	渡邊(俊)
中澤 啓人	エッジAIデバイスを用いるオフライン対話型ロボットの検討	市村(智)
中瀬 亮	OpenFOAMを用いた空調効率の研究	宇治野・高橋
西場 真翔	マイクアレイとスマートウォッチ連携によるリアルタイム音源定位システムの開発	大墳
根岸 慧伍	音響信号による死角領域の物体検出	渡邊(俊)
樋口 晃太	電流モード制御DC-DCコンバータにおける電流帰還回路モデルに関する検討	築地
福島 彩斗	0.6 μ m CMOSオペアンプ回路の設計	築地
藤田 恭輔	平衡二分探索木を用いたインデックス無制限の遅延評価セグメント木の試作	大豆生田
真庭 正宗	単眼深度推定を用いた2D顔認証における精度向上の評価と考察	渡邊(俊)
黛 琵琶	モダリティ評価のための対話型サイネージ基盤の開発	川本
メイ マー カイン	AIを活用した落とし物管理アプリの開発	西山
山本 伊吹	視線推定によるマウス代替インターフェイスの構築	渡邊(俊)
山本 康生	非流暢発話検出に基づく発表練習支援システムの開発	川本
余 夏輝	アドリブに対応するライブパフォーマンス支援システムの開発	川本
渡邊 祥	ホップフィールドモデルにおける連想記憶の性能向上に関する検討	雑賀

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
泉田 光範		深澤
伊藤 伸明		齋藤
岩崎 衣歩希		出口
上野 陽平		羽切
内田 和希		和田
生方 春音		和田
浦野 貴弘		和田
浦野 真凜		羽切
亀井 蒼葉		石川
熊倉 実梨		安西
黒澤 祥希		辻
劔持 空月		中島
笹澤 芯之介		大岡
須田 彩花		友坂
スワサン チムアチャン		中島
関 幸史郎		深澤
関 優太	※本ページの卒業研究題目につきましては、知的財産の観点から	出口
高橋 沙来	非公開とさせていただきます。	工藤
田島 哲心		工藤
津金澤 健太		深澤
中野 友雅		齋藤
中村 翔太		大岡
中村 悠世		齋藤
奈良 彩吹		安西
野村 梓音		羽切
野村 みゆき		安西
藤松 果弥		友坂
堀畑 柊平		中島
松井 俊樹		ルカノフ
武藤 眞生人		ルカノフ
山口 周根		大岡
怜満 勇		齋藤
四辻 凜		ルカノフ
渡邊 優花		出口

学生氏名	卒業研究題目	担当教員
青木 優	アクアリウム内電極装置への断続通電による水質制御効果について	谷村
阿部 恭平	3Dモデルを用いた浸透流解析による斜面崩壊予測の検討	森田
安藤 夢歩	初期ひび割れに着目した群馬県内のコンクリート施工記録の分析	渡邊(祥)
石井 宏多朗	Bacillus属細菌及び線虫による連作障害防止を目指した脱水汚泥利用土壌改良資材の試作	宮里
植松 美羽	外付け電極装置を利用したアクアリウムの水質制御について	谷村
宇津木 太羅	閉鎖系循環型濾過方式を用いた養鰻廃水処理装置の開発とその機能評価	堀尾
内海 璃久	生成 AIによる道路舗装の劣化判定	渡邊(祥)
榎本 光記	化学的酸素生成剤を用いた排水処理の適用評価	堀尾
上ノ内 心雪	通電処理した水の水質推移について	谷村
大橋 慶吾	撮影方法に着目したSfM解析による3次元点群データのドーミング対策の検討	渡邊(祥)
大村 一桂	栄養塩分布が湿性遷移の進行に与える影響の可視化・定量化	石川
大豆生田 拓真	アクアリウム内電極装置への断続通電による水質制御効果について	谷村
落合 優太	活性汚泥に対するケイ酸を用いた硫化水素発生抑制に関する研究	宮里
狩野 丞	急勾配中小河川における橋梁の閉塞による氾濫被害の評価に関する実験的研究	永野
桜澤 知隼	JNTOの統計資料に基づく日本国内の国際会議に関する研究	幕田
上村 正史	オルソ画像を用いた道路舗装のひび割れの定量評価に関する研究	渡邊(祥)
神戸 進之介	下水処理水を活用した稲作の実施に向けた水質と稲の生育に関する研究	宮里
木原 愛実	群馬県南東部を対象とした近年の大規模地震被害に基づく液状化ハザードマップの改良	渡邊(祥)
栗原 一太	正観寺川におけるマイクロプラスチック及び水生生物による河川環境調査	宮里
栗原 智弘	群馬高専における気温分布の実態と特性の評価に関する調査研究	永野
坂本 駿太	閉鎖系循環型濾過方式を用いた養鰻廃水処理装置の開発とその機能評価	堀尾
櫻井 花梨	正観寺川におけるマイクロプラスチック及び水生生物による河川環境調査	宮里
櫻澤 莉央	バサルトbio-nest法を用いた間欠ばっ気運転による機能評価	堀尾
佐々木 菜那	外付け電極装置を利用したアクアリウムの水質制御について	谷村
佐俣 友基	グリーンラストを利用した脱色、脱窒素効果の検討	堀尾
嶋方 淳	締固め試験における不確かさの要因分析	森田
清水 涼羽	照度に着目したSfMによる3次元点群データの品質に関する検討	渡邊(祥)
志村 真輝	環境DNA解析における現地調査との整合性評価及び季節変動の解析	石川
関 晴輝	米菓工場の排水処理施設の脱水汚泥を利用した土壌改良資材の試作	宮里
高橋 英大	グリーンラストを利用した脱色、脱窒素効果の検討	堀尾
田村 泰祐	ロジスティック回帰分析による地震性斜面崩壊の発生要因評価	森田
辻川 友結	通電処理した水の水質推移について	谷村
中野 栞太郎	締固め試験における不確かさの要因分析	森田
奈良部 皓大	化学的酸素生成剤を用いた排水処理の適用評価	堀尾
濱崎 将夢	バサルトbio-nest法を用いた間欠ばっ気運転による機能評価	堀尾
濱西 美心	塩素消毒低減を目指した下水処理水の取得および膜ファウリングの原因調査	宮里
原 華恋	群馬高専におけるクラウドファンディング導入に向けたアンケート分析	永野
諸田 菜津希	固化改良した地盤の擁壁に対する摩擦特性の研究	渡邊(祥)
湯本 瑛士	ロジスティック回帰分析による地震性斜面崩壊の発生要因評価	森田

学生氏名	課題名	サブタイトル	正担当	副担当
蟻川 竣介	射出成形に関連する諸因子の解明と精度向上に関するテーマ	射出成形における PLA 樹脂の複合化による耐熱強度に及ぼす影響	黒瀬	高山
有賀 光希	センサによる人の行動検出に関する研究	空中ハプティクスを用いた空中フリック式入力システムの開発	渡邊	川本
井上 永遠	宇宙機の姿勢制御と軌道解析に関する研究	超小型衛星用パルスプラズマスラストによる姿勢補償と軌道遷移に関する研究	平社	樋口
小此木 悠希	機械成形加工における材料強度に及ぼす流体効果に関する研究	ダイカスト成形における金型冷却と凝固組織の微細化に及ぼすUFB含有水の影響	黒瀬	高山
小林 俊也	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	物体検出アルゴリズムを用いた車間距離測定システムの開発	佐々木	松本
小松 洸太	高信頼性を有する回路・システムの構築に関する研究	汎用高圧合成ツールを用いた高信頼マイクロコントローラ設計	松本	佐々木
佐藤 真樹	マルチスケール熱流動科学	風レンズと小型垂直軸型風車を用いた風力発電に向けた実験的検討	矢口	櫻井
品田 将太	ヒトが扱うメディア情報の認識・統合・合成に関する研究	動画像に対する付加情報入力のためのユーザインターフェースに関する研究	川本	渡邊
鈴木 碧羽	デジタル・アナログ混載回路に関する研究	ダイレクトサンプリング方式FM帯SDRにおける復調信号処理のFPGA実装	市村(智)	築地
須田 新大	電磁場を用いたプラズマの計測および制御と応用	粒子シミュレーションを用いた電界中のプラズマ挙動の研究	市村(和)	五十嵐
舘林 大登	固体物理学研究用核磁気共鳴装置の現代化に向けた集積素子活用検討	自動調整プローブへの組み込みを想定した同調状態モニタリング機構の整備	五十嵐	佐々木
鶴間 楽人	金属材料の機械的性質と金属組織の関係についての研究	Sn-Bi 合金のひずみ速度感受性指数測定	山内	黒瀬
勅使川 原快	産業応用に向けた高速液滴の実験と理論	セミドライ加工適用による卓上5軸マシニングセンタの改良	矢口	櫻井
登坂 真伍	ヒトが扱うメディア情報の認識・統合・合成に関する研究	タイミング指定発話の個人性に関する研究	川本	大墳
藤井 友朗	人工知能による応用システムの研究	発話期待度を用いた多人数対話における話者交代制御手法の提案と評価	荒川	市村(智)
丸橋 貴斗	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	可視光通信を用いた出席確認システムの開発	佐々木	松本
南 依杜	電源回路の電力変換・制御技術に関する研究	フィルタ挿入による降圧形DC-DCコンバータの出カインピーダンス変化の解析	佐々木	築地
柳原 知佳	先進材料の機械加工における力学特性に関する研究	CFRTPセクタブランク材を用いた再加熱プレス法による半球成形	黒瀬	高山
山口 天花里	人工知能による応用システムの研究	異なる生成AIの特性の違いを可視化するためのプロンプトリストの設計と検証	荒川	市村(智)
山本 空澄	移動ロボットにおける対人アシスト技術の研究	介助用電動パワーアシスト車いすのための衝突回避手法	市村(智)	荒川
渡邊 謙太郎	電磁場を用いたプラズマの計測および制御と応用	瞬間的強磁場発生によるプラズマ制御に関する研究	市村(和)	五十嵐
伊丹 柚貴	生理活性が期待される有機化合物に関する研究	ペプチドを連結した芳香族らせん分子に関する研究	大岡	工藤
伊藤 綾香	地震時の地盤挙動に関する研究	令和6年能登半島地震を対象とした地盤地震応答解析における検証	森田	永野
伊藤 涼	流れによる輸送プロセスを考慮した流域管理手法の構築に関する研究	狭窄部における流木の折損プロセスと折損した流木の長さの評価に関する研究	永野	宮里
岩佐 茜	機能性無機有機複合材料の開発および活性評価	金属有機構造体を利用した電極触媒の開発	齋藤	深澤
大竹 志弥	社会基盤を脅かす問題に向けた微生物利用による解決法と関連微生物の解析	活性汚泥中における有用微生物の活動に及ぼす影響因子の解明と新規活用技術の開発	宮里	堀尾
小柏 敦詩	生物機能を活用した生物資源の高度利用に関する研究	酒石酸アンモニウムがホモンジゴケの生育に及ぼす影響	大岡	羽切
女屋 公輝	植物や微生物が生産する生理活性物質に関する研究	抗菌活性試験に用いる植物病原菌の胞子の誘導	大岡	友坂
加藤 文暉	有機化合物の光物性に関する研究	N-フェニル基にオクチルオキシ基を導入した1,8-ナフタルイミドの合成と蛍光挙動の検討	中島	工藤
金子 夕姫	植物における形態形成やストレス応答に関する研究	培地に含まれる糖の種類がニンジンの不定胚形成に与える影響	大岡	友坂
坂下 航太郎	新規センサ材料の作製および物性評価	酸化チタンと導電性ポリマーを用いた新規放射線検出器材料の作製と評価	齋藤	深澤
佐々木 陽生	機能性材料の製造および品質制御プロセスの開発に関する研究	噴霧晶析法を用いた異元素含有アパタイトの結晶品質制御	羽切	和田
佐藤 寿俊	分子分光学を用いた化学反応機構の研究	超音波による単一気泡発生装置を用いた超音波化学反応に関する研究	辻	齋藤
高橋 祐人	人生の充実度や満足度(QOL)の向上に資する生体物質化学	心臓再生のためのゼブラフィッシュ-ヒトキメラタンパク質による異種細胞接着システムの開発	大岡	安西
豊島 陸玖	機能性無機有機複合材料の開発および活性評価	MOFの粒子形状の違いによる触媒活性への影響	齋藤	深澤
宮内 草太	機能性無機有機複合材料の開発および活性評価	無機有機複合材料を用いた空気酸化触媒の開発	齋藤	深澤
森谷 太亮	火山防災へ向けた溶岩流災害情報の基盤構築と対策手法の開発	模擬溶岩の組成や流路床の粗度が流動性に与える影響の評価に関する研究	永野	森田
諸田 実紗希	持続可能な社会の構築に向けた材料化学および化学技術	グルコマンナン自立膜の物質透過性ならびに分離機能の評価	羽切	和田
吉田 律喜	地震時の地盤挙動に関する研究	地盤条件および地震動特性を考慮した液状化要因の因子分析	森田	永野

教職員からはなむけの言葉

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

Congratulations on your academic success.
We are all very proud of your accomplishments here at NIT (Kosen), GC.

(一般教科(人文科学)教授 伊藤 文彦)

激しく変革する時代の中で、何でも便利にできるようになりました。その反面、人は考える機会を失いつつあります。詰め込んだ短期記憶はすぐ揮発し、思考を伴う記憶は固く定着すると言われています。思考する習慣を大切にしてください。卒業後もこれまで同様に、美しくかっこよく、果敢に挑戦する勇気を持ち続けてください。ご卒業おめでとうございます。(機械工学科 教授 平社 信人)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。
新たな旅立ち、何事も最初の一步が肝心です。次の目標を立て、恐れず積極的に挑戦してください。青春の日々を過ごした群馬の青空と山々は、いつもみなさんを見守っています。成長したみなさんと再会できる日を楽しみにしております。(電子情報工学科 教授 市村 智康)

「出会いを大切に」
ご卒業おめでとうございます。
新天地ではこれまで以上に多くの人との出会いが待っていると思います。一つ一つの出会いを大切に、より多くの考えや文化を吸収し自分の糧としてください。周りの人の良いところも引き出しながら、自らの能力を研鑽し、活躍していくことを期待しています。(環境都市工学科 准教授 永野 博之)

ご卒業おめでとうございます。高専在学中、数多くの困難を乗り越えてきた皆さんなら、就職先や進学先においても、きっと自らの力で明るい未来を切り開いていけると信じています。これからの活躍を心より願っています。たまには元気な顔を見せに戻ってきてください。

(一般教科(人文科学)准教授 小菅 智也)

少年老い易く学成り難し
最近、痛感しています。自分の人生を大切に生きてください。お元気で!

(機械工学科 准教授 矢口 久雄)

卒業おめでとうございます。みなさんが個々の視点で挑戦し、よりよい未来を創造してくれることを期待しています。将来みなさんがそれぞれのキセキを本校に語りに来てくれることを楽しみにしています。

(電子情報工学科 准教授 川本 真一)

ご卒業おめでとうございます。
高専生活で培った思考力と行動力は、これからの人生の確かな武器です。失敗を恐れず挑戦し、自分らしい未来を切り拓いてください。皆さんの活躍を心から期待しています。

(環境都市工学科 助教 幕田 早紀)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。
それぞれの道で、みなさんらしく輝いていくことを願っています。群馬高専で学んだことや経験したことを糧に、自信を持って次のステージへ進んでください。

(一般教科(人文科学)講師 石関 正典)

私が着任した時の1年生がもう卒業かと思うと、時が経つ早さに驚くばかりです。
この5年で皆さんはどれくらい成長できましたか? 世の中の進歩に取り残されないよう、これからも成長し続けて下さい。
卒業・修了おめでとうございます!
(機械工学科 准教授 高山 雄介)

ご卒業おめでとうございます。
群馬高専での5年間、数多くの困難を乗り越えてきたと思います。依然として社会の変化も多く大変な世の中ですが、皆様であればうまく対応して成長を続けることができるでしょう。今後、どこかで皆様の活躍を見られることを楽しみにしています。
健康には十分気を付けてお過ごしください。
(電子情報工学科 准教授 渡邊 俊哉)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。
高専で学んだことは、これからの人生の基盤になります。仕事でも学業でもご活躍を期待しています。そして何より、高専で出会った友人は人生の宝物です。これからも大切にしてください。

(環境都市工学科 助教 山口 恭平)

Keep an open mind, and be curious.

Congratulations on your graduation!

(一般教科(自然科学)教授 宇治野 秀晃)

卒業おめでとうございます。
皆さんはこれから、さまざまな仕事に就き、活躍していくことでしょう。
どうかその歩みを止めることなく、今後も挑戦を続けてください。
より大きな技術者へと成長されることを願っております。(電子メディア工学科 教授 平井 宏)

卒業・修了おめでとうございます。高専での学びと、友人たちとの出会いは、皆さんの未来を支える大切な礎です。どうか自信を持って前へ進み、挑戦と成長を重ねてください。これからもずっと応援しています。

(物質工学科 教授 羽切 正英)

Love the life you live.
Live the life you love.
自分の生きる人生を愛せ。
自分の愛する人生を生きろ。
ボブ・マーリー
卒業・修了おめでとうございます。
皆さんの未来に乾杯!
(教育研究支援センター 技術職員 浅見 博)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。
昨日まであった道が、明日はあるか分からない世の中ですが、ここで得たものを糧に、自らの明るい未来を切り拓いて行ってください。応援しています。

(一般教科(自然科学)准教授 北田 健策)

ご卒業、おめでとうございます。今年の卒業生とは興味深いさまざまな交流の機会があり、それぞれが内に秘めた可能性を知って大いに刺激を受けました。大丈夫です。自信を持って歩いて行ってください。応援しています。

(電子メディア工学科 教授 五十嵐 睦夫)

Congratulations to the graduating class!
As you step into the next stage of your journey, may you continue to learn, challenge yourselves, and grow as engineers and global citizens. May your passion for technology lead to discoveries that create value and positive change. Best wishes for a bright and rewarding future.
(物質工学科 准教授 アレクサンダー R ルカノフ)

ご卒業おめでとうございます。
これから様々な道を行って行かれるかと思いますが、みなさんが学び得たものを糧に、その先々での活躍を願っております。

(教育研究支援センター 技術専門職員 岡本邦夫)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。節目の時を迎えた今、さまざまな感情が入り混じり、戸惑いを覚えている人も多いことでしょう。その感情の交錯の先には、必ず「素晴らしいこと」が待っている筈です。皆さんのそれぞれが、群馬高専で得たものを元手に、世界で活躍することを心から願っています。

(一般教科(自然科学)助教 奈須田 祐大)

卒業・修了おめでとうございます。
みなさんは、高専でどれくらいXP(経験値)を上げることができましたか?
少しずつレベルアップしながら、次に出てくるイベントやモンスターをクリアして進んで行ってください。(電子メディア工学科 准教授 布施川 秀紀)

高専生活で高めた専門性と磨いた個性は、それぞれの人生を彩る大切なものです。
是非これらを存分に発揮して、自分にしか歩めない人生を築いて行ってください。
たまには元気な姿も見せてね。卒業・修了、本当におめでとう!(物質工学科 助教 深澤 永里香)

ご卒業おめでとうございます。
入学してから5年間・7年間は、思い返せばあっという間だったと思います。
進学先・就職先でも健康に気を付けて頑張ってください。

(教育研究支援センター 技術職員 中澤 将大)

退任挨拶

長い間お世話になりました

機械工学科 嘱託教授 榎本 弘

私が群馬高専に採用されたのは1985年（昭和60年）になります。41年と着任時には想像もできなかった期間ですが、今となってはあっという間でした。長い間、学生、保護者、教職員に皆様方には大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。

30年以上前ですが、顧問をしていた軟式庭球部（現ソフトテニス部）が全国高専大会で団体・個人の両方で優勝しました。最近とは異なり、当時は5年生の夏まで部活動もしっかり行っていました。近くに住む卒業生はいまだに学校へ顔を出してくれます。

2021～22年度の2年間は寮務主事を務めさせていただきました。当時はコロナ禍の真っ只中で、ほとんどの行事も中止か縮小。中寮3階は感染が疑われる寮生がでた場合の隔離用居室になりました。不安一杯でしたが、寮務経験が豊富な主事補の先生二人に支えられながら、寮運営を行った2年間でした。

今後実家のある和歌山に戻るのかと尋ねられることがあります。群馬におります。人生の3/4は群馬県人です。田舎へは帰るのではなく、行く感覚になっています。4月以降もどこかで顔を合わすことがあるかと思えます。その節はよろしくお願ひ申し上げます。



長い歳月をともに過ごしてくれた皆さんへ

一般教科（自然科学） 嘱託教授 神長 保仁

平成9年4月に着任してから再雇用期間を含め29年間、あわただしい中にも充実した日々を過ごしてきました。着任直後に1年生の正担任を任されて以来、正担任12回、副担任10回を務め、多くの学生と出会えたことは何よりの喜びです。北海道や沖縄への社会見学旅行、留学生とのスキー、海外派遣で訪れたシカゴやニューヨークでの思い出など、振り返ると心に残る場面が尽きません。研究に割ける時間は限られていましたが、英国での長期滞在ではマイケル・アティヤ氏やロジャー・ペンローズ氏と過ごす貴重な機会に恵まれ、生涯の宝となりました。長く勤めることができたのは、支えてくださった同僚の皆様、そして学生の皆さんのおかげです。心より感謝申し上げます。本校のこれからの発展を願ひ、退任のご挨拶とさせていただきます。



郷に入っては郷に従え

電子メディア工学科 教授 平井 宏

平成12年春、思いがけず採用の機会をいただきました。

「高専とはどのような教育機関なのだろう」と考えていた折、図書館で村田武彦著『こぼれぬ剣』（宇都時報社）に出会いました。15名の高専教員が、それぞれの仕事に対する情熱を語る内容であり、私はこの一冊に深い感銘を受けました。

私自身も、高専教育の良き担い手となれるようお願い、着任後の最初の10年間は、伝統を学び、先輩方のご忠言に常に耳を傾けながら、日々の業務に励んで参りました。

一方で、赴任後は指導教官のもとを離れ、自身の研究を立ち上げることとなりましたが、当初はなかなか成果が上がりませんでした。

そのような中、山崎校長のご在任中に電気通信大学との連携を開始することができ、液体ヘリウムをほぼ無償で利用できる環境が整いました。お蔭で年間を通じて低温実験を重ねることが可能となり、いくつかの重要な知見を得て、数編の論文としてまとめることができました。



感謝の一言に尽きます

環境都市工学科 教授 堀尾 明宏

群馬高専に着任して13年が経ち、定年退職を迎えることになりました。岐阜県から単身で赴任し、勝手がわからない中、多くの方に助けてもらい、勤め上げることができました。

短い教員歴で、経験浅いのですが、この間の一番の思い出は、学生との触れ合いでした。研究室や担任クラスの学生と日常を過ごし、行動できたことは私にとって大変貴重な思い出です。特に、令和7年度最後の年に、3Cの正担任を持つことができ、この1年間本当に充実した時間を過ごすことができました。10年ぶりの正担任だったこともあり、新鮮で思い入れも大きく、不思議と自分の家族のような気持で接することができました。本来なら、卒業年度まで受け持つ形なのですが、それができなかったことが本当に残念です。今後は、遠くで見守ることとなりますが、3Cの皆さんの頑張りに期待したいと思います。最後に、多くの方との出会いに感謝し、ご多幸をお祈りします。ありがとうございました。



お世話になりました

電子情報工学科 准教授 西山 勝彦

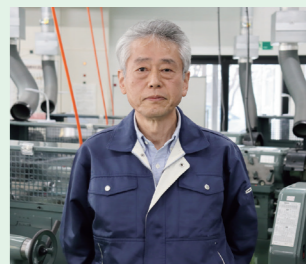
群馬高専で3年間（高専通算ですと19年余りですが）、いろいろとお世話になりました。本来であれば、これから学校へ貢献していかなければならないところ、このような形になってしまったことを深くお詫び申し上げます。ここで経験したことはこれからの仕事で活かしていきたいと考えています。世の中では、人工知能の浸透が加速し、多くの人々が仕事を失うと予想されています。その一方で、人工知能もデータに限られている分野では精度が低いという側面もあります。これからの時代を生き抜くためには、比較的データに限られている分野、例えば基礎研究等の分野へ近づいていくことが必要になるのではないかと感じています。技術の進歩が早く、舵取りの難しい時代ではありますが、皆様のご活躍を祈念申し上げます。



楽しい工作実習

教育研究支援センター 技術職員 須永 修司

機械工作実習の指導に当たって一番に注意したのが事故を起こさないように安全に配慮したことでした。学生が気持ち良く実習をしていけるよう、作業環境のコンディションを整えて臨みました。学生にも工場の整理・整頓・清掃の指導を心掛けました。学生の実習レポートに「清掃の行き届いた機械を使っの実習は気分もよく楽しいです。自分も心掛けていきたいです」とありました。実習に集中できる作業環境を提供できていることを改めて確信できた一瞬でした。5年前に実習工場が改修された時は、コロナ過と重なりとても大変な実習となりました。2年前に旋盤も更新され更に環境が改善されています。常に安全第一をモットーに実習に携わってきましたが、再雇用の期間も満了し、これといった事故を起こすことなく充実した40年の職務をまっとうすることが出来ました。これもひとえに教職員、学生の皆様のおかげと心より感謝しております。ありがとうございました。



NEWS&TOPICS

学生会新役員紹介

歩み続ける学生会

学生会会長 3C 小林 孝太郎

来年度も学生会会長を務めます、環境都市工学科の小林孝太郎です。引き続き、1年間どうぞよろしくお願いいたします。新しい副会長には、1年機械工学科の梁取賢大朗、1年電子メディア工学科の横堀政宗が就任します。学生会執行部は、私たち会長・副会長が所属する総務局のほか、会計局、書記局、渉外局、庶務局で構成されており、それぞれの局長を中心に協力しながら活動を進めていきます。

来年度は、例年とは異なり4年生が会長となりますが、学年の枠にとらわれず役割を分担し、これまで先輩方が築いてこられた学生会執行部の流れを大切にしながら、各局がそれぞれの役割を主体的に担う体制を整え、学生会執行部としての活動をより充実させていきたいと考えています。中心となって活動するのは、これまでと同様に3年生以下の役員であり、新局長も渉外局を除き3年生以下が担当します。また、学生会執行部では、学生の皆さんの声をより身近に受け取るため、新たな取り組みとして、学生会室に意見募集用のQRコードを設置する予定です。これまでは前期・後期にそれぞれ一度ずつ行っていたアンケートのみでしたが、日常の学校生活の中で、執行部の運営について感じたことや、新しい行事の提案などの前向きな意見から、運営に対する率直な意見まで、気軽に伝えてもらえる仕組みにしたいと考えています。寄せられた意見については、執行部として検討し、学生会室での掲示を含めた対応を検討しています。

学生会執行部の活動をより良く、安定したものにしていくためには、学生の皆さん一人ひとりの関わりが欠かせません。学生総会等への積極的なご協力をお願いいたします。

最後になりますが、新年度も学生の皆さんや教職員の皆さまの期待に応えられるよう、学生会執行部一丸となって活動してまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



吹奏楽部 定期演奏会

お世話になりました！

3K 田中 力

こんにちは、吹奏楽部部長の田中です！

この度、私たちは第63回定期演奏会を開催しました。ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございました。今年の吹奏楽部は、昨年よりもさらに部員数が増え、これまで以上に厚みと迫力のある音楽をお届けできたのではないかなと思っています。経験の浅い部員もいましたが、めげずに練習を重ね、本番では楽しそうに演奏している姿がとても印象に残りました。

今年は工華祭の開催もあり、昨年よりも行事が多く、なかなか忙しい一年でした。部員数も増えたことで、部長として判断や責任を求められる場面も多く、正直悩んだり迷ったりすることもたくさんありました。それでもこの一年を乗り切れたのは、尊敬できる先輩方、頼りになる同級生、そして最後までついてくれた後輩たちのおかげだと思います。特に顧問の矢口先生や学生課の方々には、たくさんご迷惑をおかけしてしまい、本当に頭が上がりません。

この一年を通して、組織をまとめて引っ張っていくことの大変さや責任の重さを、身をもって学ぶことができました。来年度は部長を交代し、新体制で吹奏楽部は活動していきます。元部長としての経験を生かしながら、これからは新部長を陰から支えていけたらと思っています。私よりもずっと頼もしい部長なので、部員のみなさんは安心して新部長についていってください！一年間、本当にありがとうございました！これからの吹奏楽部の活動に目が離せませんね！



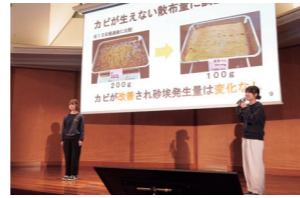
第4回高専GIRLS SDGs×Technology Contest (高専GCON2025)

飛粉を飛び越えて!

3C 坂本 真百合・栗本 衣咲

「文部科学大臣賞は、群馬レベルアップ大作戦☆の皆さんです。」すでに受賞していた企業賞に加えて、目標に掲げてきた最優秀賞が決まった瞬間の高揚感はずっと忘れられません。「群馬発の新素材、こんにやく飛粉を活用せよ!」というテーマで高専GCON2025に出場しようとして、こんにやくパークで学びを深めた6月。飛粉をコンクリートの材料として活用しようとして炎天下の中30kgのセメントを練るも、強度が足りずに断念した夏休み。他高専や企業の方と関わる中で自分たちの未熟さを痛感した9月。企業訪問でのアドバイスから飛粉を赤城おろしによる砂埃対策に活用できないか実験を始めた10月。一次審査、二次面接を経て89チームの中から東京大学で行われる本選に出場できる12チームに選ばれた11月。実験はもちろん、本選出場に向けた資料や原稿の作成と発表練習、テスト勉強、部活、バイト、自動車教習で毎日睡眠不足だったラスト1か月。私たちの怒涛の6か月はあっという間に過ぎ去りました。そして迎えた本選当日。飛粉使用により98%以上の砂埃抑制効果が確認できたことをプレゼンし、高専生らしく堅実だという評価を受け今回のダブル受賞という結果をいただくことができました。これは間違いなく私たちの高専生活での一番の思い出になるでしょう。

今回のGCONに参加して、プレゼン、スライド作り、ポスターセッションなど今までやってこなかった多くの経験ができたこと、また課題解決に向かって進んでいくことの楽しさを知れたことが最大の学びです。やってみようという気持ち一つから始めた私たちがこのような結果と貴重な経験をいただいたのは、何より参加するきっかけをくださり、熱心に指導してくださったC科渡邊祥庸先生のおかげです。他にも関わっていただいた先生方、企業の方、すべての方々へ感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後も群馬をレベルアップさせるため、次の目標に向かって進んでいきます☆



全国高等専門学校デザインコンペティション.....構造デザイン部門

紙とボンドで挑む構造デザイン部門

3C 山本 拓海

11月8日(土)、9日(日)の2日間にかけて、福井県鯖江市の鶴陽会館で開催された全国高等専門学校デザインコンペティション(以下、デザコン)に参加しました。私たちが参加した構造デザイン部門では、与えられた条件のもと紙とボンドだけで橋を製作し、デザイン性や軽量性、耐荷重などを競います。与えられる条件は毎年変更され、今年の特徴は「橋が分割可能な2部材から構成され、橋を斜めに設置した後、60キログラムの荷重に耐える」というものでした。大会の結果は40キログラムおよび30キログラムに耐えるもので、近年の群馬高専としては非常に良好な成績でした。また、会場では他高専の特色ある作品を見学し、構造や製作方法の工夫を学ぶことができ、今後の活動に活かせる多くのヒントを得られました。最後に、これまでご支援くださった後援会の皆様、ならびにアントレプレナーシップ教育工房の皆様がこの場をお借りして心より感謝申し上げます。また、渡邊先生、山口先生にも深く御礼申し上げます。



全国高等専門学校デザインコンペティション.....プレデザコン

プレデザコンに挑戦!

1年5組(C) 西村 俊祐

プレデザコンは、高専の本科1年生から3年生までを対象とした、いわゆる低学年向けのデザコンです。僕は何かのコンテストに挑戦したい気持ちがあったので、自分にぴったりだと思いプレデザコンに応募しました。僕たちが応募したのは、3Dプリンタで造形した作品で競う部門です。今大会のプレデザコンのテーマ「織りなせ!アイデアとデザイン」から、桑の木と蚕、繭をモチーフにした作品を制作しました。アントレプレナーシップ工房の3Dプリンタと3Dスキャナを活用することで、スムーズに制作を進められました。今回のプレデザコンへの挑戦を通して、多くの学びと刺激を得られ、色々なことに挑戦したいという気持ちがより一層強まりました。この挑戦を支えてくださった教職員の方々、後援会や先輩方、そして共に夏休みを削ったチームのみんなに改めて感謝を伝えたいです。本当にありがとうございました!



国際大学対抗プログラミングコンテスト 参加報告

ICPC Yokohama

5J 藤田 恭輔

ICPCは、世界中の大学が集まり、数学的な問題を計算機で処理するプログラムを書く能力を競う、競技プログラミングの大会です。ただ解くだけでなく、実行時間速度やメモリ使用量にも注意なくてはなりません。そのため、アルゴリズムとデータ構造および数学の知識を使って、効率のよいコードを書くことが求められる競技です。私たちのチームは、もともと競技プログラミングをやっている人どうしが集まり、学内で結成しました。7月にオンラインで行われた予選に参加し、無事に通過できたので、12月に横浜で行われる本選に参加できることになりました。私たちは、12間中5問だけの正解に終わってしまいましたが、解き切れなかった惜しい問題が3問ありました。しかし、あと2問以上も解けていれば、3月に台湾で行われるアジア大会に駒を進めることができただけかもしれません。とても悔しかったですが、この悔しさを忘れずにもっと精進して来年も挑戦したいと思います。



SEMICON Japan 2025 インバーター回路設計スピードコンテスト 優勝

初代王者

5J 福島 彩斗

令和7年12月18日に大手半導体企業が多数出展するSEMICON Japanにて、SEMI Circuit Design Speed Contestが初開催されました。今大会はインバーターという、信号を反転させる回路を設計するスピードを競う大会で、シューティングゲーム風に設計する部門と、実際の設計ソフトを用いる本格的な部門があり、私は後者の部門に出場し、優勝しました。もともと5Jの集積回路工学の授業内でインバーターを設計する機会があり、設計スピードは速かったので、11月ごろに大会の詳細について知らされたときは、「ワンチャン優勝いけるんじゃないか?」って思っていました。卒業研究の合間を縫って地道に練習を重ねた結果、見事優勝しました。最初は自分よりも速いタイムの人がいて、準優勝かと思いましたが、設計の正確性で上回り、優勝と発表されたときは思わずガッツポーズを上げるほど嬉しかったです。



TSK フェスwith ゴム動力自動車コンテスト

革新の風

エコノパワー愛好会 5M 足立 啓真

我々エコノパワー愛好会は、10/26に高崎市もてなし広場にて開催されたTSKフェス2025withゴム動力自動車コンテストに参加しました。70mの直線コースのタイムを競う競技で、県内外の一部の高校や短大などが参加している本格的な大会です。今回は工華祭と日程が被り、人員・機材・訓練ともに最低限での参加となりました。今回大会から規定が改訂され、ゴール後10m以内で停止する条項が追加されました。プレーキ性能と加速とのバランスが求められ、従来の加速性能第一主義の転換点となる大会となりました。結果は学生の部1位で記録が9秒03でした。また、社会人チームの最速記録と前回大会の優勝チームの記録も上回り、実質総合優勝といえる結果でした。しかし、プレーキ性能の不足により、本来のパワーを発揮できなかったため、その改良を含めて次回大会に向けた活動を継続していきます。

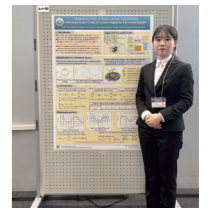


国際学会 MHS2025 Best Poster Award

MHS2025 Best Poster Awardを受賞して

5M 渡邊 真桜

2025年11月23日に名古屋大学で開催されたMHS2025 (International Symposium on Micro-NanoMechatronics and Human Science)において、「超小型衛星のための永久磁気トルカを用いたパッシブ姿勢制御方式」についてのポスター発表を行い、「Best Poster Award」を受賞しました。初めての学会発表、そして国際学会ということで緊張もありましたが、無事査読も通り、当日は多くの方とお話することができました。医療系のテーマが多い中、カプセルロボットを研究している方と姿勢制御について盛り上がるなどつながりを見だし、交流を楽しむ姿勢を評価していただいたのではないかと思います。今回の受賞に関しては、引率してくださった平社先生やご指導いただいた先輩方、発表練習に協力してくれた同級生など研究室の皆さんのおかげです。引き続き研究に励み、またこのような機会をいただけるよう頑張ります。



第11回関東磐越地区化学技術フォーラム ポスター賞

初めてのポスター発表

5K 野村 梓音

令和7年11月30日、小山市立生涯学習センターで行われた関東磐越地区化学技術フォーラムに参加し、優秀ポスター賞を受賞することができました。学会発表もポスター発表も初めての経験でとても緊張しましたが、多くの学生さんや先生方が発表を聞きに来られ、質問やアドバイスをいただき、発表を通して知識を深めることができました。ポスター発表では発表が終わってから質疑応答という流れはもちろん、内容を見て気になったところの質問から始まることもあり、コミュニケーション能力の大切さも学ぶことができました。ポスター作りから初対面の人の前での発表と慣れないことが多かったのですが、研究室の先生や先輩、仲間たちとポスターについて相談したり、会場でも声を掛け合ったりして無事に発表を終えることができました。最後に、指導教員の羽切先生をはじめとする研究に関わっていただいた諸先生方ならびにフォーラム関係者の方々にこの場を借りて感謝申し上げます。



令和7年度土木学会全国大会 第80回年次学術講演会 ポスター賞

なんで私がポスター賞に

環境工学専攻1年 小手川 温陽

このたび、「地震と地盤の関係性」に関する研究で土木学会全国大会のポスター賞を受賞しました。発表者が私一人だったこともあり、会場へ向かう道中は不安が大きく、「本当に大丈夫だろうか」と心細さを感じていました。さらに、夏休みはインターンや他学会の準備が重なり、当日まで十分な打ち合わせができず、会場で先生と合流したときには思わず安堵したほどです。しかし、発表が始まると多くの方が足を止めてくださり、緊張よりも楽しさが勝っていました。相手の理解が追いついていない部分を丁寧に補える点に、ポスター発表ならではの魅力を実感しました。受賞を知ったのは先生からの連絡で、準備不足やトラブルもあったため驚きが大きく、しばらく実感が湧きませんでした。今回の受賞は指導してくださった先生方や周囲の支え、そして運に恵まれた結果だと感じています。この経験を糧に、次は“驚き”ではなく“自信”を持って結果を迎えられるよう、研究に一層励んでいきます。



第31回高専シンポジウム in Amagasaki

いっぽんでもニンジン

環境工学専攻2年 金子 夕姫

1月に開催された第31回高専シンポジウムin Amagasakiで口頭発表を行い、豊橋技術科学大学学長賞を受賞することができました。私はニンジンの不定胚について研究しており、今回同じ研究室の学生もハナミズキとコケの研究でそれぞれ受賞しています。

学会に参加することの良いところは、多くの人に自分の研究について見てもらえるだけでなく、自分自身も色々な人の発表を見られるところだと思います。開催地ならではのおいしいものを食べられるのも良いところです。高専シンポジウムは全国の高専から学生が参加するのですが、発表を見ていて、改めて群馬高専をはじめとした高専生のレベルの高さを実感しました。私も他の高専の先生や学生と話すことができ、良い刺激になりました。最後に、優しく丁寧な指導をくださった大岡先生、練習に付き合ってくれたアドバイスをくれた研究室のみんなや応援してくれた家族、友人に感謝でいっぱいです。ありがとうございました。



研究発表を通して感じた成長

環境工学専攻2年 小柏 敦詩

1月24日に兵庫県で開催された第31回高専シンポジウムに参加し、ホンモンジゴケに関する研究発表が、ポスター発表部門で長岡技術科学大学学長賞を受賞しました。今回が初めての参加でしたが、落ち着いて発表に臨み、自分の関心分野について楽しみながら説明することができました。生物分野以外にも、材料系や土木系など多様な分野の先生方から質問や意見をいただき、自分の研究を別の角度から捉えることで新しい発見がありました。また、伝え方を少し工夫することで相手の理解が深まることを、ポスター発表を通して実感しました。今回の経験を励みに、今後も研究に取り組んでいきたいと思ひます。本研究を進めるにあたり、ご指導いただいた大岡先生に心より感謝申し上げます。



植物と向き合った考察の2年間

環境工学専攻1年 川田 泰生

この度、第31回高専シンポジウムin Amagasakiにて豊橋技術科学大学学長賞をいただくことができ、大きな喜びを感じています。

植物を扱う研究の道程は、決して平坦なものではありませんでした。培地の組成や植物片の扱いなど、わずかな条件の違いで結果が大きく変わってしまうため、当初は失敗の連続でした。特に苦労したのは、実験結果に対する考察の過程です。使用する試薬の性質を熟知しているつもりでも、生きた植物に対しては多角的な影響を及ぼし、予想外の結果を招くことが多々ありました。その複雑さと向き合う中で、科学的に事象を紐解く難しさや重要性を身に染みて感じました。

今回の受賞は、こうした困難に正面から向き合い、粘り強く考察を続けた結果だと自負しています。思い通りの結果が出ない時こそ、新しい発見が隠れているという教訓を胸に、支えてくださった方々への感謝を忘れず、これからも植物が秘める可能性について、独自の視点で研究を続けていきたいです。



関東信越地区高等専門学校 英語弁論大会

その場で得られるもの

1年4組(C) 上坂 理子

英語弁論大会でレシテーション部門にて特別賞をいただいたこと、大変嬉しく思います。大会を通じて多くの経験をしましたが、特に印象的だったのは他校の発表を聴いたことです。レシテーション部門では各々が選んだ文章の面白さに加え、発表者の表現方法によって個性が際立ち、聴いていて楽しかったです。スピーチ部門では内容が聴衆を引き込み、パワーポイントも素晴らしく、最後まで興味深く聴くことができました。

変な話、レシテーションやスピーチは個人でも練習をすればできます。それでも大会というものに参加する意味はここにあると思っています。他校生の発表から感銘を受け、視野を広げることは大会に参加しなければ得られない貴重な体験です。最後に、指導して下さった熊谷先生を始めとする英語教員の方々、励ましてくれた友人、支えてくれた家族に心から感謝します。



私、去年のリベンジを果たす

4 J 山縣 蒼人

先日、小山高専で行われた英語弁論大会関東信越地区大会のスピーチ部門に出場し、3位に入賞することができました。幸運なことに、全国大会に出場できるみたいです！今回は「科学の進歩が常識を変えてきたことや、AIなどのこれからの科学を恐れる必要はない」みたいなスピーチをしました。

実は昨年出場したのですが、その時は自分以外全員が入賞してしまい、撮影のカメラマンなどをしていました。ちょっと悔しい経験をしたので、今年は「リベンジ」を誓い、「とにかく楽しむ！」と決めて挑みました。本番では少しミスもしましたが、笑顔で焦らずカバーできたのが良かったですね。

忙しい中ご指導くださった伊藤先生、そして凄腕の1年生たちのおかげです。弁論大会は練習こそ大変ですが、発音や表現力を成長させられるので、英語が「ちょっと好きかも」という人には本当におすすめです。群馬高専は毎年誰かが入賞する強豪校になりつつあると思うので、ぜひ参加してみてください！

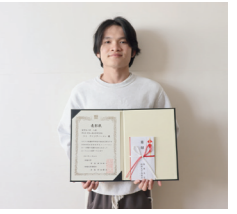


留学生作文コンクール

書き直しがくれた言葉

3 J ライ ウィジアパーコン

ある日、日本語の授業で先生が紙を出して、「このコンテストに出よう」と言った。その瞬間、文章を書くのが苦手な私は、成績に関係ないため、さっと書いて出せばいいかと思ってしまった。しかし、先生の「自分が本当に伝えたいことを書いていいよ」という一言は私の考えを変えた。留学生として、自分の中だけにしまっていたことに気づき、ずっと言いたかったことを書いてみようと思うようになった。初めて書いた原稿は、自然な日本語にならず、正直ひどいものだった。それでも先生は、私の文章と向き合い続けてくれて、何度も書き直させてくれた。何度も書き直すうちに、自分の言葉になっていくのを感じた。先生のご指導のおかげで、第27回 後藤新平・新渡戸稲造記念 全国高校生・留学生作文コンクール2025(主催:拓殖大学・拓殖大学後援会)留学生の部で「入選」した。自分の中だけにしまっていた私の物語が、誰かに届いたようで本当にうれしかった。



留学生研修旅行

留学生旅行について

5 K スワサン チンムアチャン

まずはじめに、このたびの留学生旅行に際し、校長先生をはじめ、留学生担当の先生方、そしてお忙しい中、私たちを引率して下さった塚原先生や村先生方に、心より感謝申し上げます。

今回の旅行では、歴史ある富岡製糸場の見学をはじめ、群馬サファリパークで多くの動物を観察し、たばな源氏庵の美味しい料理を味わうなど、さまざまな体験をしました。また、こんにやくパークを訪れ、こんにやくの製造過程を見学し、試食もしましたが、すでにお腹がいっぱいだったため、少しだけ味わいました。その後、長野県佐久市へ移動し、到着後は4人で約2時間カラオケを楽しみました。夜は夕食をいただきましたが、とても量が多く、食べきれないほどでした。翌日17日には、バスで湯の丸スキー場へ行き、スキーを体験しました。とても楽しく、刺激的な体験でした。時間の関係で長く滑ることはできませんでしたが、転んでしまう人や、止まるのが難しい人もおり、体力を使って疲れた人もいました。

今回の旅行では、これまで訪れたことのない新しい場所を見ることができ、とても楽しい時間を過ごしました。特に、スキー当日は雪が降っていなかったため、視界が良く、安全に滑ることができました。

また、二人の先生方が富岡製糸場の歴史について丁寧に説明して下さり、理解がより深まりました。旅行中も常に私たちに気遣い、親切に対応して下さったことに、改めて感謝いたします。



トビタテ！留学JAPAN報告

Hello！ビック アメリカンス

3M 岡田 和也

トビタテ！を通して、アメリカで再利用ロケットの見学・訪問を行った。ロケットの打ち上げや実物を前にして感じたのは、技術以前に「スケールの違い」だった。ロケットは大きく、SpaceXのロケットが着陸するのを見たのは感動した。アメリカが宇宙開発を本気で産業として進めている姿勢に強い刺激を受けた。この経験は、将来宇宙工学を学ぶときに役に立つと思う。一方で、日常生活もまたビックだった。お菓子やポテトは日本の約3倍、都市間の移動は3000km近く飛行機が当たり前。アメリカの人は体も大きく、ホストファミリーのお腹はクラクションを押せるほど立派で、思わず笑ってしまった。さらに、ビーガンの方に誤って鰹を食べさせてしまうことや、1セントしかチップを渡さず怒られる、6000円払って髪型おっぱみしたいにされたり失敗も経験した。学びも戸惑いも含めて、異文化の中で成長できた留学だった。



波乱万丈で駆け抜けたトビタテ留学

3M 板橋 葉月

トビタテの審査や事前研修を経て、半年ほど準備して臨んだアメリカ留学でしたが、現地では想像していなかった出来事の連続でした。入国後に滞在先や学校を変更する必要が生じたり、周囲の人間関係のトラブルに巻き込まれたり、計画通りにいかないことも多く、毎日が挑戦の連続でした。

その一方で、留学生生活を充実させるために多くの人と関わり、相談し、交渉する機会が増えたことで、ガイドさん、クラスメイト、先生、ホストファミリーなど、たくさんの友達に出会うことができました。放課後はロサンゼルス市内を案内してもらったり、観光地に連れて行ってもらうと、温かく支えてもらいました。

今度日本に来る友人もおり、次は私が日本を紹介する番です。思いがけない出来事も含めて、すべてが学びにつながった、非常に価値のある一か月間でした。この留学を支えてくださった教職員の皆さまに、心から感謝しています。ありがとうございました。



カーリング日本代表合宿参加&大会参加報告

カーリング日本代表合宿に参加して

2年1組(M) 高橋 暁之介

私はSC軽井沢クラブのエリートアカデミーに所属し、日々の練習に励んでいます。12月にSC軽井沢クラブJr.として札幌市にあるどうぎんカーリングスタジアムで行われたカーリング日本代表合宿に参加しました。この合宿では、自身の投球フォームの改善とチーム全体でのコミュニケーションの見直しを重点に置いて活動しました。主な内容は、昨シーズンの日本ジュニアカーリング選手権大会で優勝したチームと計6試合を行いました。結果は2勝4敗でしたが、自分やチームとしての現在地を確認することができました。

また、1月22日から25日に青森市スポーツ会館で行われた全国高等学校カーリング選手権大会では、この合宿の成果を生かし、優勝することができました。この大会では、各地方で選抜された高校生チームが集う大会であり、男女各5チームが優勝を目指し、総当たりで試合をしました。決勝戦では、延長戦までもつれ込む激戦の末、勝利しました。

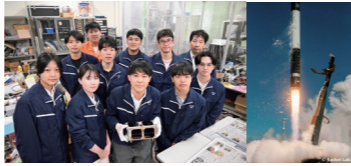
最後に、ミラノオリンピックをきっかけに多くの方にこの競技に魅力を感じていただけると嬉しいです。



超小型衛星「KOSEN-2R」開発

リチャレンジに想いを込めて（超小型衛星開発） 生産システム工学専攻2年 井上 永遠

「KOSEN-2」の軌道投入失敗から3年半、再挑戦として始まった「KOSEN-2R」プロジェクト。私が専攻科に在籍する時期が重なったことから、先輩の思いを引き継ぎリーダーとして開発を進めてきました。開発では膨大な書類作成に加え、機械・電気両面での作業を担当し、多くの困難に直面しました。特に許容寸法公差から0.1mm外れた部品の修正に数日間徹夜で取り組んだことが印象に残っています。開発遅れによるプレッシャーに悩まされることもありましたが、2025年内に全ての環境試験を合格することができました。現在は打ち上げに向けた最終段階にあり、米国企業Rocket Labの「Electron」というロケットで打ち上がります。チームで作りに上げてきた衛星が軌道上で動作する瞬間を願い、最後まで見届けたいと思います。最後に、共に衛星を作り上げた平社先生をはじめ、研究室の仲間や先輩方、関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。



令和7年度群嶺テクノセミナー

分野を越えてー群嶺テクノセミナーと次世代へのメッセージー 地域連携テクノセンター長 石川 英司

令和7年度も、群嶺テクノ懇話会主催により、全4回の群嶺テクノセミナーを開催することができました。今年度は、自然科学分野にとどまらず、シェイクスピアに代表される人文科学やインフラマネジメントなど、社会的要請の高いテーマを含むバラエティー豊かな内容で構成された点が大きな特徴です。専門分野や立場の異なる参加者が、それぞれの視点から学び、意見を交わす貴重な機会となりました。

第185回では、幕田先生を講師に迎え、で分見学会と同日に「理系女子応援セミナー」として開催し、中学生16名と保護者が参加されました。理工系分野の魅力や進路選択について具体的な分かりやすい講演が行われ、次世代育成の観点からも大変意義深い回となりました。本セミナーは、教育・研究と地域連携を結ぶ重要な取り組みであり、教職員・学生双方にとって社会との関わりを考える契機となっています。ご参加・ご支援いただいた皆様、心より感謝申し上げます。

回	日時	学科	講師	題目
184	2025. 10. 31	一般教科（自然科学）	岩田 英人	近似をとおして物事を単純化してみよう
185	2025. 11. 8	環境都市工学科	幕田 早紀	都市は小さい？大きい？ “カラダものさし”から学ぶ都市計画
186	2025. 12. 19	一般教科（人文科学）	熊谷 由里子	日本におけるシェイクスピア受容 ー明治から2010年代までー
187	2026. 1. 9	環境都市工学科	渡邊 祥庸	3次元データ活用によるインフラマネジメントの合理化について

生物教育研究連携講演会

酒のもたらす多くの潤い

地域連携テクノセンター副センター長 永野 博之

「酒類産業と地方創生」と題した第9回生物教育研究連携シンポジウムが、令和7年12月9日（火）に群馬高専で開催されました。お二人の外部講師の先生方をお迎えし、日本酒やクラフトビールなど醸酵産業が地域経済や文化振興に果たす役割について多角的に学ぶ機会となりました。

酒類産業の行政的支援を担う独立行政法人酒類総合研究所の日下一尊部門長からは、酒造業が免許制であることや公益性を重視した教育機会等への支援体制についてのご説明、東広島市西条町における「酒まつり」、利根沼田酒蔵ツーリズムなどご紹介いただきました。また、新潟県で日本酒を基軸とした地域活性化に取り組む新潟大学日本酒学センターの平田大教授からは、世界初の学問領域である日本酒学（Sakeology）の拠点である日本酒学センターが新潟大学に設立された背景や、開講された日本酒学についての講義が人気を博していること、さらには海外への展開についてご紹介いただきました。

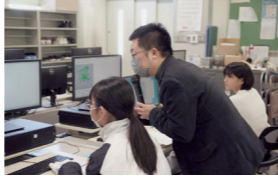
講演後のパネルディスカッションでも活発な意見交換が行われました。新鮮な視点で酒類産業を知ることができ、酒類産業が果たす多面的な役割を学ぶことができ、大変有意義なシンポジウムとなりました。

ひらめき☆ときめきサイエンス

分子の運動から私たちの世界を探ってみよう

機械工学科 准教授 矢口 久雄

日本学術振興会の「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI」に採択され、令和7年12月26日（金）と12月27日（土）に体験学習イベント「分子の運動から私たちの世界を探ってみよう」を開催しました。分子ひとつひとつの運動をコンピュータ内で再現する分子動力学シミュレーションを用いて、気体と液体の共存状態などを分子レベルから理解するアクティブ・ラーニングを行いました。これに加えて、液体窒素による冷却実験、レーザ加工見学、風洞実験なども実施しました。ご参加いただいた中学生と保護者の皆様には、高専での研究や実習の雰囲気を感じていただくとともに、実施協力者である高専生との交流も楽しんでいただくことができましたと感じております。ご協力いただいた研究室の学生たちと技術職員の浅見様に心より感謝申し上げます。



スマートサイエンススクール (SSS)

令和7年度スマートサイエンススクールのご報告 地域連携テクノセンター副センター長 齋藤 雅和

平成25年度から開始したスマートサイエンススクール、通称SSSは今年度で13回目を迎えました。開始当初は中学校に訪問し趣旨説明を行っていましたが、年度を重ねるたびに中学校やその保護者にも認知されるようになり、今では少数ですがSSSの案内を出す前に相談を受けるようになりました。当時の努力が形になってきましたこと大変嬉しく思います。さて、今年度のSSSは、専門五学科から7テーマを用意し、33名の中学生に参加して頂きました。7月26日に開催したSSS開校式では、参加中学生は緊張な面持ちで参加していましたが、実際に複数回の実験を経験したことでそれぞれの専門内容が分かったのか、12月13日に開催したSSS閉校式では落ち着いた様子で実験報告をされていました。閉校式の後にはアントレプレナーシップ工房の見学にも数名ご参加下さり、実りある会となりました。最後に本講座を担当した本校教員、学生スタッフ、運営を担って頂いた事務部の皆さんに御礼申し上げます。ありがとうございました。



栄典【瑞宝小綬章】

皇居で2m先の天皇陛下よりお言葉を賜りました

群馬工業高等専門学校 名誉教授 下田 祐紀夫
(前橋工科大学 客員教授)

この度、教育研究功勞として、令和7年11月12日に皇居の豊明殿にて、天皇陛下より「国、社会、人々のために」とのお言葉を賜りました。群馬に戻る新幹線の中で、「小生は、国、社会、人々のために何をしたのだろうか？」と改めて考えてみました。群馬高専での41年間は、目の前の「技術教育、産学連携」の課題をどう乗り越えるか、その繰り返しの毎日でした。全学科共通の新科目「総合物作り体験」の立ち上げ、専攻科での新科目「技術者倫理」と「企業論」の開設などです。総合モノづくり学習は17人の教員・技術職員の協力を得て開設することができました。「機械工場の旋盤」を操作し「歯車ペダント」を作った物質工学科1年の女子学生は、レポートの中で「おばあちゃんに見せたら感激し、ペダントを仏壇に上げて、一緒に拝みましょうと喜んでくれました」とありました。「産学連携では、「地域共同技術開発センターの設置」および「群嶺テクノ懇話会の立ち上げ」を、小島昭教授（当時）のリーダーシップのもとに、お手伝いをさせて頂きました。その中で生まれたのが「鉄骨くん」（株式会社 吉田鉄工所）と「ウルトラクリーン容器」（カンサン株式会社）です。「鉄骨くん」で作った建造物等は「東京スカイツリー、県議会庁舎、上毛大橋、八ッ場ダム」の2号橋、明石海峡大橋、のぞみ（新幹線車両）、ニューヨーク・ワシントンの地下鉄車両」などで、「鉄骨くん」は、日本、アメリカ、中国、韓国で「高層ビル、大型橋梁、鉄道車両」等の製作に現在も活躍しております。「ウルトラクリーン容器」は、渋川市の関東電化工業が生産している「半導体製造用の高純度フッ素ガス」を入れて、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど、世界中で、現在も流通に使用されております。高専を離れて、気づいたことは「群馬高専の力の大きさ」です。事務職員・技術職員・教員の力に加え「学生の力」の大きさに気が付きました。ご尽力頂いた各位に心より感謝申し上げます。



スマートプロセス学会

Best Paper Review賞を受賞して

機械工学科 教授 山内 啓

スマートプロセス学会より2024年度Best Paper Review賞を頂戴しました。この賞は、スマートプロセス学会誌に掲載された当該年度の解説論文の中から会長や編集委員長などから構成される審査委員会の推薦を経て理事会により決定されます。

今回受賞した解説論文は、私が群馬高専に着任してから新規に開始したテーマであり、これまで十数名の本科学士・専攻科生が取り組んできた内容であります。各学生が得た研究結果はこれまで個別に論文として纏めてきましたが、今回学会誌からの依頼を受けて、研究総括的な位置づけで作成しました。近年、カーボンニュートラルやエネルギー負荷低減の観点から、低温接合用のSn-Bi合金の需要が伸びており、Sn-Bi合金の利用拡大に向けた機械的特性の改善、特に衝撃特性の改善は必要不可欠であります。今後も研究発展に努めて、その成果を社会へ還元すべく努力していきたいと考えています。

電子情報工学科棟竣工

J科棟が新しくなりました

電子情報工科学科科長 大墳 聡

電子情報工学科（J科）棟について、昨年度は3－4階、今年度は大講義室およびその下の2教室も含む1－2階の改修が行われました。学生便覧によるとJ科棟の竣工は昭和63（1988）年12月です。今回ははじめての大規模な改修でした。改修が終わったJ科棟について書いていきます。

まずトイレです。女子トイレは2階だけでしたが、3階にも設置され1フロア分増えました。当初の計画では男子トイレは1階、4階となり、1階2個の個室が埋まっていると4階まで行く必要がありました。今年度の改修のときJ科分の区域を減らし男子トイレを2階にも作るようにしました。後援会行事や特別研究Ⅱ発表会など外部の方も利用する大講義室の階に男女トイレがあるというのは、学校としてよいことかと思っています。

次に照明についてです。LED照明になるとともに、トイレのほか階段・廊下も人感センサー付きとなりました。スイッチ操作が不要になって便利なおえ、消し忘れで一晩中照明が点灯しているということもなくなります。

4階実験室と3階メディア情報研究室は別途予算を獲得して改修しており、まだ日が浅いので今回の改修では窓枠程度です。2階実験室の机は中学校の理科室にあるような重くて机の面の高さがちょっと高いものですが、今回の改修でしっかりしているけど低いものに変更しました。低くなることで、ノートをとったり実験装置の操作がしやすくなるはずですが。

パソコン室については予算が足りず机は入れ替えられませんが、イスは新しくなりました。昇降機能が壊れていたイスや完全に壊れて別のイスの利用もありましたが、今回一新されます。そして、入室時のスリッパへの履き替えは不要となります。

研究室については以前からテンキー操作による扉に変更していましたが、今回の改修でもテンキー操作方式です。指導教員が出張・休暇で不在でも研究室への入退室に制約はありません。

他にも機能追加・拡張した部分もありますが、紙面の都合上ここまでとします。実験・卒研・学習等で使いやすいJ科棟になったと思います。



令和7年度 学生表彰者一覧

1. 学業成績優秀賞 (本科卒業生)

氏名	学科名
岡田 志織	機械工学科
岸 駿也太	電子メディア工学科
真庭 正宗	電子情報工学科
熊倉 美梨	物質工学科
青木 優	環境都市工学科

2. 課外活動功労賞

氏名	クラス	対象事項
中村 悠世	5K	学生会会長
倉田 翔月	5M	男子寮長
安藤 夢歩	5C	女子寮長
関 優太	5K	陸上競技部部长
高橋 英大	5C	硬式野球部主将
宇津木 太羅	5C	サッカー部部长
堀越 圭吾	5E	バレーボール部男子キャプテン
土谷 琢磨	5J	バレーボール部男子部長
岸 駿也太	5E	バスケットボール部男子キャプテン
安藤 夢歩	5C	バスケットボール部女子キャプテン
江積 瞳弥	5E	ソフトテニス部部长
狩野 丞	5C	剣道部部长
佐藤 悠生	5E	バドミントン部部长
長森 涼音	5E	バドミントン部女子主将
清水 怜	5M	水泳部部长
渡邊 祥	5J	吹奏楽部部长
田村 泰祐	5C	吹奏楽部部长
飯島 慶士	5J	文芸部部长
泉田 光範	5K	写真部部长
志村 真輝	5C	理科部部长
笹澤 芯之介	5K	茶道部部长
藤田 恭輔	5J	SF研究部部长
黛 琵琶	5J	電算部部长
堤 勇飛	5E	演劇部部长
北爪 大夢	5M	演劇部部长
余 夏輝	5J	将棋部部长
小泉 慧真	5M	ロボット研究会部長
嶋方 淳	5C	コンクリートカヌー愛好会 (会長に準じる功績)
足立 啓真	5M	エコノパワー愛好会会長
岩崎 衣歩希	5K	ダンス愛好会会長
中澤 啓人	5J	クイズ研究会会長

4. 卒業研究優秀賞

氏名	学科名	研究題目
石井 湊	機械工学科	金属積層ラフト造形における造形時間がベース材変形に及ぼす影響
荒牧 龍真	電子メディア工学科	高位合成に基づく小規模ニューラルネットワークのFPGA実装の検討
中澤 啓人	電子情報工学科	エッジAIデバイスを用いるオフライン対話型ロボットの検討
黒澤 祥希	物質工学科	新たな配座探索法の開発
諸田 菜津希	環境都市工学科	固化改良した地盤の擁壁に対する摩擦特性の研究

3. 特別功労賞

氏名	クラス	クラブ名	対象事項
黒澤 一輝	3K	水泳部	令和7年度関東信越地区高専体育大会 水泳競技 男子100m背泳ぎ 優勝 男子200m背泳ぎ 優勝 3年連続地区大会優勝 (令和5、6、7年度)
櫻井 花梨	5C	水泳部	令和7年度関東信越地区高専体育大会 水泳競技 女子200m個人メドレー 優勝
ハリソン ひかり	2-1(C)	剣道部	令和7年度関東信越地区高専体育大会 剣道競技 女子団体 優勝
澤田 怜奈	2-4(K)	剣道部	
吉田 桃菜	2-5(C)	剣道部	
高井 舞羽	2-2(K)	剣道部	
松村 拓弥	2-2(C)	自転車愛好会	関東高等学校自転車競技大会 3KmlP 1位、ロードレース 1位、学校対抗 (ロードレース) 1位 Tour de l'Abitibi 総合15位 全国道府県対抗自転車競技大会 個人ロードレース 2位 第31回 全日本自転車競技選手権大会 シクロクロス 2位 2026 アジアロード選手権大会 ジュニア個人タイムトライアル1位、ジュニアロードレース9位
中村 尊智	2-1(K)		第19回セシリア国際音楽コンクール (弦楽器部門高校生部C) ヴァイオリン 2nd Prize受賞
高橋 暁之介	2-1(M)		全農全国高等学校カーリング選手権大会 優勝 第32回中部カーリング選手権大会 優勝 JOCジュニアオリンピックカップ 第33回日本ジュニアカーリング選手権大会 準優勝 第10回ヨーロッパジュニアカーリングツアー・プラハ大会 (10th edition of European Junior Curling Tour) 日本ジュニア代表 4位入賞
福島 彩斗	5J		第1回 SEMI Circuit Design Speed Contest 競技2(JEDAT EDA SX-Meister 部門) 第1位
鈴木 碧羽	AP2		第1回 SEMI Circuit Design Speed Contest 競技2(JEDAT EDA SX-Meister 部門) 第2位
多胡 夏樹	4J		第1回 SEMI Circuit Design Speed Contest 競技1(メタバース・Circuit Designer 部門) 第2位
ライ ウイザパルク	3J		第27回 後藤新平・新渡戸稲造記念 全国高校生・留学生作文コンクール2025 留学生の部 入選
栗本 衣咲	3C		第4回高専GIRLS SDGs×Technology Contest(高専GCON2025) 最優秀賞 (文部科学大臣賞)、企業賞 (鹿島建設賞)
坂本 真百合	3C		
岡田 志織	5M		[ぐんまスペースアワード (GSA)2025] [ぐんま缶サットチャレンジ] 優勝、群馬県知事賞
渡邊 真桜	5M		
井上 永遠	AP2		
滝谷 優太	AP1		

その他 (学会からの表彰等)

氏名	クラス	対象事項
石井 湊	5M	公益社団法人 日本設計工学会 武藤賞
瀬戸 直弥	5M	公益社団法人 計測自動制御学会 SICE優秀学生賞
渡邊 真桜	5M	国際学会MHS2025(36th 2025 International Symposium on Micro-NanoMechatronics and Human Science) [Best Poster Award]、一般社団法人 日本機械学会 畠山賞
坂井 信太郎	5M	一般社団法人 日本塑性加工学会 学生奨励賞 (高専・短大の部)
黒澤 祥希	5K	日本化学会関東支部 支部長賞
野村 梓音	5K	第11回関東信越地区化学技術フォーラム 優秀ポスター賞
落合 優太	5C	全国高専土木工学会 近藤賞
井上 永遠	AP2	超小型衛星 [KOSEN-2R] 開発プロジェクト 開発リーダー、SAMCON2025 IEEJ Industry Application Society Excellent Presentation Award (部門優秀論文発表賞)
小此木 悠希	AP2	日本機械学会関東支部第31期講演会 若手優秀講演賞、日本機械学会関東支部群馬ブロック研究・技術交流会2024 優秀講演賞
品田 将太	AP2	公益社団法人 計測自動制御学会 SICE優秀学生賞
柳原 知佳	AP2	一般社団法人 日本塑性加工学会 学生奨励賞 (学部・高専専攻科の部)
小柏 敦詩	AE2	第31回高専シンポジウム in Amagasaki 長岡技術科学大学 学長賞
金子 夕姫	AE2	第31回高専シンポジウム in Amagasaki 豊橋技術科学大学 学長賞
森谷 太亮	AE2	第52回土木学会関東支部技術研究発表会 優秀発表賞
諸田 美紗希	AE2	日本化学会関東支部 令和6年度群馬地区研究交流発表会 優秀ポスター賞

編集後記

学校だより第137号は“卒業”特集です。群馬高専を巣立つ皆さん、ご卒業おめでとうございます。群馬高専で過ごした日々はいかがでしたか？ここでの経験や思いを胸に、新たな道へと踏み出してください。また各種コンテストや学会発表などへの挑戦&受賞、おめでとうございます。卒業生の皆さんはそれぞれの進んだ先で、在校生の皆さんは高専生活という限られた時間を大切に、さらなる飛躍を遂げられることを心よりお祈り申し上げます。
(広報委員長 大岡 久子)